

一等水準点検測成果集録

第 3 8 卷

(平成 5 年度観測)

平成 7 年 2 月

建設省国土地理院

記

本集録は、平成5年度に、国土地理院が行った一等水準点検測の結果を集録、図示したものである。

平成7年2月

建設省国土地理院

一等水準点検測成果集録

第 38 卷

(平成5年度観測)

目 次

1. 観測器械及び観測法	3
(1) 観測器械	
(2) 観測法	
2. 観測区域及び期間	8
3. 水準点変動図の説明	13
付図 一等水準路線図	
一等水準点変動図	

1. 観測器械および観測法

平成5年度において使用した観測器械および観測法は次のとおりである。

(1) 観測器械

A 水準儀

水準儀名称	望遠鏡倍率	水準器感度等
Wild 製N3型精密水準儀	42倍	10" / 2mm (合致式)
Carl Zeiss Jena 製NI002型 精密自動水準儀	40倍	公称視準精度 0.05mm

B 水準標尺

水準標尺名称	長さ	目盛部の状況	
		材質	目盛法
Wild 製精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の 両側に5mmの差をも って10mmごとに目盛 る。
Carl Zeiss Jena 製精密水準標尺	3m	〃	〃
ソキア製精密水準標尺	3m	ニュースーパーインバール (巾2.5cm, 長さ3m)	〃

(2) 観測法

観測に際しては、地上によく踏みこんだ鉄製標尺台に、標尺を尺付属の円形水準器によって鉛直に立て、水準儀は、両標尺間の中央に整置し、後視－前視、更に前視－後視の順序に観測を行う。

整準ねじによって、まず円形水準器の気泡を中央に導き、第1回視準（後視－前視）は左側目盛分画線、第2回視準（前視－後視）は右側目盛分画線を視準する。

Wild製N3型精密水準儀の場合は微傾動ねじによって主水準器気泡の映像を合致させ、測

微装置によって、くさび型十字糸で分画線を正しく挟んで10分の 1mmまで読みとる。

Carl Zeiss Jena 製 NI002型精密自動水準儀の場合は、第1回視順はコンペンセーターがⅠの位置、第2回視準はコンペンセーターが、Ⅱの位置において測微装置によってくさび型十字糸で分画線を正しく挟んで10分の 1mmまで読みとる。

水準儀と標尺の距離は、平地で通常 50m以内とし、各水準点間は 2km（地点標に併設された水準点間は 1km）を往復観測を行い、その往復差は、 $2.5\sqrt{S}$ mm（S は片道の観測距離でkm単位）以内である。

なお、標尺の検定は、定期的にレーザー干渉計または基準尺により比較測定して行い、観測値に所要の補正をする。

附表

平成5年度以前において使用した観測器および観測法

(1) 観測器械

A 水準儀

観測年度	水準儀名称	望遠鏡 倍率	水準器感度
大正13年(1924)以前	Carl Bamberg 製 一等水準儀(Y型)	36倍	4" ~ 5" / 2mm
昭和27年(1952)以前	Carl Zeiss 製Ⅲ型 精密水準儀	36倍	4" ~ 12" / 2mm (合致式)
昭和30年(1955)以前	Carl Zeiss 製Ⅲ型 精密水準儀	36倍	"
	Wild 製N3型精密水準儀	42倍	10" / 2mm (合致式)
昭和42年(1967)以前	Wild 製N3型精密水準儀	42倍	"
昭和44年(1969)以前	Wild 製N3型精密水準儀	42倍	"
	Zeiss 製 NI2型精密自動水準儀	32倍	円形水準器 8'
昭和53年(1978)以前	Wild 製N3型精密水準儀	42倍	10" / 2mm (合致式)
昭和54年(1979)以後	Wild 製N3型精密水準儀	42倍	"
	Carl Zeiss Jena 製 NI002 型精密自動水準儀	40倍	公称視準精度 0.05mm

B 水準標尺

観測年度	水準標尺名称	長さ	目盛部の状況	
			材質	目盛法
大正13年以前 (1924)	Carl Bamberg 製 水準標尺	3m	露国産自然乾燥赤 楊	木部の表面に直接 5mmごとに目盛る
昭和27年以前 (1952)	Carl Zeiss 製 精密水準標尺	3m	インハール(巾2.6cm、 長さ3m)	インハール帯の中央線 の両側に 2.5mmの 差をもって 5mmご とに目盛る
昭和30年以前 (1955)	Carl Zeiss 製 精密水準標尺	3m	〃	同上 5mmの差をも って10mmごとに目 盛る
	Wild 製精密水準標尺	3m	〃	〃
昭和42年以前 (1967)	Wild 製精密水準標尺	3m	〃	〃
昭和44年以前 (1969)	Wild 製精密水準標尺	3m	〃	〃
	Zeiss 製精密水準標尺	3m	〃	〃
昭和53年以前 (1978)	Wild 製精密水準標尺	3m	〃	〃
平成元年以前 (1989)	Wild 製精密水準標尺	3m	〃	〃
	Carl Zeiss Jena 製 精密水準標尺	3m	〃	〃
平成 2年以後 (1990)	Wild 製精密水準標尺	3m	〃	〃
	Carl Zeiss Jena 製 精密水準標尺	3m	〃	〃
	ソキア 製精密水準標尺	3m	ニュースーパーインハール (巾2.5cm、長さ3m)	〃

(2) 観測法

観測器械 区分	Carl Bamberg	Carl Zeiss	Wild N3	Zeiss NI2	Carl Zeiss Jena NI002
視準順序	上方分画- 下方分画	後視-前視 -前視-後視	後視-前視 -前視-後視	後視-前視 -前視-後視	後視-前視 -前視-後視
設定単位	0.01mm	0.01mm	昭和35年以 前は0.01mm	0.1mm	0.1mm
標尺距離 (平坦地)	最大40m	最大40m	昭和45年以 前は60m	最大50m	最大50m
往復差の制限 Sは片道の観測 距離でkm単位	$1.5\sqrt{2S}$ mm	$1.5\sqrt{2S}$ mm	昭和35年以 前は $1.5\sqrt{2S}$ mm 昭和36年か ら昭和39年 までは $2.0\sqrt{2S}$ mm	$2.5\sqrt{S}$ mm	$2.5\sqrt{S}$ mm
環閉合の制限	$1.5\sqrt{S}$ mm	$1.5\sqrt{S}$ mm	$2.0\sqrt{S}$ mm	$2.0\sqrt{S}$ mm	$2.0\sqrt{S}$ mm

2. 検測区域及び区間

変動区 番号	検 測 区 間	不動とした水準点番号	キ 口 数	検 測 期 間	頁	
5- 1	自 北海道釧路市 至 北海道根室市	B.M 交7606 B.M 花咲検潮所 球分体	B.M 交7606	131	自 平成5年 5月 至 平成5年 6月	
	自 北海道中川郡豊頃町 至 北海道釧路市	B.M 準基227 B.M 釧路検潮所	B.M 準基227	93	自 平成5年 5月 至 平成5年 6月	
5- 2	自 北海道小樽市 至 北海道空知郡栗沢町	B.M 6997 B.M 7339	B.M 6997	116	自 平成5年 5月 至 平成5年 8月	
	自 北海道小樽市 至 北海道小樽市	B.M 6997 B.M 忍路験潮場 固定点	B.M 6997	2	自 平成5年 8月 至 平成5年 8月	
	自 北海道小樽市 至 北海道瀬棚郡北檜山町	B.M 6997 B.M 交23	B.M 6997	205	自 平成5年 7月 至 平成5年 8月	
	自 北海道瀬棚郡北檜山町 至 北海道瀬棚郡北檜山町	B.M 交23 B.M 6440	B.M 6997	23	自 平成5年 7月 至 平成5年 8月	
	自 北海道瀬棚郡北檜山町 至 北海道山越郡長万部町	B.M 交23 B.M 交20	B.M 6997	55	自 平成5年 7月 至 平成5年 9月	
5- 3	自 青森県青森市 至 青森県青森市	B.M 007-467 B.M 浅虫験潮場 固定点	B.M 浅虫験潮場 固定点	20	自 平成5年 5月 至 平成5年 5月	
	自 青森県青森市 至 青森県青森市	B.M 6122 B.M 交6052	B.M 浅虫験潮場 固定点	7	自 平成5年 5月 至 平成5年 5月	
	自 青森県八戸市 至 青森県八戸市	B.M 準基528 B.M 6956	B.M 準基528	18	自 平成5年 9月 至 平成5年 9月	
5- 5	自 宮城県仙台市 至 宮城県岩沼市	B.M 交2179 B.M 2168	B.M 交2179	24	自 平成5年 8月 至 平成5年 8月	
	自 宮城県仙台市 至 宮城県宮城郡利府町	B.M 004-352 B.M 5655	B.M 5655	18	自 平成5年 8月 至 平成5年 8月	
5- 6	自 新潟県北蒲原郡安田町 至 福島県田村郡小野町	B.M 交4398 B.M 4223	B.M 交4398	178	自 平成5年 7月 至 平成5年11月	
	自 福島県会津若松市 至 福島県耶麻郡西会津町	B.M 交4264 B.M 会津若松測候所 気象標石	B.M 交4398	3	自 平成5年 9月 至 平成5年 9月	
5- 7	自 福島県会津若松市 至 栃木県宇都宮市	B.M 交4264 B.M 4089	B.M 交4264	146	自 平成5年 8月 至 平成5年 9月	
	自 栃木県宇都宮市 至 栃木県芳賀郡茂木町	B.M 4085 B.M 4070	B.M 4085	30	自 平成5年 9月 至 平成5年 9月	
5- 8	自 新潟県小千谷市 至 群馬県高崎市	B.M 交3595 B.M 交522	B.M 交3595	158	自 平成5年 7月 至 平成5年 9月	
	自 群馬県山田郡大間々町 至 栃木県今市市	B.M 4135 B.M 交4102	B.M 4135	69	自 平成5年 7月 至 平成5年 8月	
5- 9	自 茨城県古河市 至 茨城県古河市	B.M 2028 B.M 2028	B.M 2028	42	自 平成5年11月 至 平成5年12月	
	自 埼玉県北葛飾郡栗橋町 至 茨城県古河市	B.M 2025 B.M 2028	B.M 2028	21	自 平成5年12月 至 平成5年12月	
5-10	自 東京都千代田区 至 千葉県船橋市	B.M 甲 B.M 3825	B.M 甲	162	自 平成5年11月 至 平成5年12月	

変動区 番 号	検 測 区 間	不動とした水準点番号	キ ロ 数	検 測 期 間	頁	
5-10	自 東京都千代田区 至 千葉県千葉市	B.M 甲 B.M 千葉県水準原点	B.M 甲	80	自 平成5年11月 至 平成5年12月	
	自 東京都中央区 至 東京都千代田区	B.M 交無号 B.M 交4	B.M 甲	6	自 平成5年12月 至 平成5年12月	
	自 東京都千代田区 至 神奈川県三浦市	B.M 甲 B.M 5367-2	B.M 甲	88	自 平成5年11月 至 平成6年 2月	
	自 神奈川県横浜市 至 神奈川県藤沢市	B.M 基25 B.M 交36-1	B.M 甲	15	自 平成5年11月 至 平成5年12月	
5-11	自 千葉県君津市 至 千葉県勝浦市	B.M 3857 B.M 勝浦験潮場 固定点	B.M 3857	65	自 平成5年11月 至 平成5年11月	
	自 千葉県富津市 至 千葉県館山市	B.M 3863 B.M 布良験潮所 固定点	B.M 3857	48	自 平成5年10月 至 平成5年11月	
	自 千葉県館山市 至 千葉県安房郡和田町	B.M 3880 B.M 3887	B.M 3857	14	自 平成5年10月 至 平成5年10月	
	自 千葉県館山市 至 千葉県鴨川市	B.M 3880-5 B.M 3895	B.M 3895	44	自 平成5年10月 至 平成5年11月	
5-12	自 静岡県熱海市 至 神奈川県三浦市	B.M 交52 B.M 油壺験潮場 固定点	B.M 交52	97	自 平成5年11月 至 平成6年 2月	
	自 神奈川県足柄下郡湯河原町 至 神奈川県足柄下郡真鶴町	B.M 49-1 B.M 真鶴験潮場 附4307	B.M 交52	2	自 平成5年11月 至 平成5年11月	
	自 神奈川県小田原市 至 静岡県熱海市	B.M 44 B.M 交52	B.M 44	88	自 平成5年11月 至 平成5年12月	
5-13	自 東京都大島町 至 東京都大島町	B.M 10210 B.M 10210	B.M 10210	46	自 平成5年11月 至 平成5年12月	
	自 東京都大島町 至 東京都大島町	B.M 10210 B.M 岡田験潮所 固定点	B.M 10210	1	自 平成5年11月 至 平成5年12月	
5-14	自 静岡県熱海市 至 静岡県伊東市	B.M 交52 B.M 伊東験潮場 固定点	B.M 交52	40	自 平成5年 6月 至 平成5年 7月	
	自 静岡県伊東市 至 静岡県賀茂郡河津町	B.M 9341 B.M 9353	B.M 交52	25	自 平成5年 7月 至 平成5年 7月	
	自 静岡県伊東市 至 静岡県伊東市	B.M 9332 B.M 宇佐美潮位観測場 固定点	B.M 交52	2	自 平成5年 6月 至 平成5年 6月	
	自 静岡県沼津市 至 静岡県伊東市	B.M 9400 B.M 9341	B.M 9400	42	自 平成5年 6月 至 平成5年 7月	
	自 静岡県田方郡中伊豆町 至 静岡県伊東市	B.M 48-003-012 B.M 48-003-000	B.M 9400	14	自 平成5年 6月 至 平成5年 6月	
	自 静岡県田方郡修善寺町 至 静岡県賀茂郡河津町	B.M 48-136-012 B.M 9353	B.M 9400	41	自 平成5年 7月 至 平成5年 8月	
	自 静岡県熱海市 至 静岡県伊東市	B.M 交52 B.M 伊東験潮場 固定点	B.M 交52	41	自 平成5年11月 至 平成5年12月	

変遷区 番 号	検 測 区 間	不動とした水準点番号	キ 口 数	検 測 期 間	頁
5-14	自 静岡県伊東市 B.M 9341 至 静岡県賀茂郡河津町 B.M 9353	B.M 交52	25	自 平成5年11月 至 平成5年11月	
	自 静岡県伊東市 B.M 9332 至 静岡県伊東市 B.M 宇佐美潮位観測場 固定点	B.M 交52	2	自 平成5年11月 至 平成5年11月	
	自 静岡県沼津市 B.M 9400 至 静岡県伊東市 B.M 9341	B.M 9400	42	自 平成5年11月 至 平成5年11月	
	自 静岡県田方郡中伊豆町 B.M 48-003-012 至 静岡県伊東市 B.M 48-003-000	B.M 9400	13	自 平成5年11月 至 平成5年11月	
	自 静岡県沼津市 B.M 内浦検潮所 球分体 至 静岡県沼津市 B.M 9400	B.M 9400	1	自 平成5年11月 至 平成5年11月	
	自 静岡県田方郡修善寺町 B.M 48-136-012 至 静岡県賀茂郡河津町 B.M 9353	B.M 9400	41	自 平成5年11月 至 平成6年 2月	
	自 静岡県三島市 B.M 58-1 至 静岡県賀茂郡南伊豆町 B.M 南伊豆験潮所 固定点	B.M 58-1	116	自 平成5年 6月 至 平成5年 7月	
	自 静岡県田方郡土肥町 B.M 9387 至 静岡県田方郡天城湯ヶ島町 B.M 48-136-018	B.M 9387	25	自 平成5年 6月 至 平成5年 7月	
	自 静岡県賀茂郡河津町 B.M 9353 至 静岡県賀茂郡南伊豆町 B.M 南伊豆験潮所 球分体	B.M 9353	28	自 平成5年 7月 至 平成5年 7月	
	自 静岡県沼津市 B.M 内浦検潮所 球分体 至 静岡県沼津市 B.M 9400	B.M 58-1	1	自 平成5年 7月 至 平成5年 7月	
	自 静岡県賀茂郡西伊豆町 B.M 田子験潮場 固定点 至 静岡県賀茂郡西伊豆町 B.M 9378	B.M 58-1	1	自 平成5年 6月 至 平成5年 6月	
	5-15	自 静岡県静岡市 B.M 128-1 至 静岡県沼津市 B.M 交60	B.M 128-1	71	自 平成5年10月 至 平成5年10月
自 静岡県周智郡森町 B.M 5268 至 静岡県掛川市 B.M 140-1		B.M 140-1	22	自 平成5年10月 至 平成5年10月	
自 静岡県周智郡森町 B.M 5268 至 静岡県掛川市 B.M 140-1		B.M 140-1	22	自 平成6年 1月 至 平成6年 1月	
自 静岡県掛川市 B.M 140-1 至 静岡県静岡市 B.M 128-1		B.M 140-1	47	自 平成5年 6月 至 平成5年 7月	
自 静岡県藤枝市 B.M 132 至 静岡県榛原郡相良町 B.M 準基1354		B.M 140-1	43	自 平成5年 7月 至 平成5年 7月	
自 静岡県焼津市 B.M 2569 至 静岡県焼津市 B.M 焼津験潮場 固定点		B.M 140-1	2	自 平成5年 7月 至 平成5年 7月	
5-16	自 静岡県掛川市 B.M 140-1 至 静岡県榛原郡御前崎町 B.M 御前崎検潮所 固定点	B.M 140-1	35	自 平成5年 4月 至 平成5年 5月	
	自 静岡県小笠郡浜岡町 B.M 2595 至 静岡県榛原郡御前崎町 B.M 御前崎検潮所 標石	B.M 140-1	12	自 平成5年 4月 至 平成5年 5月	

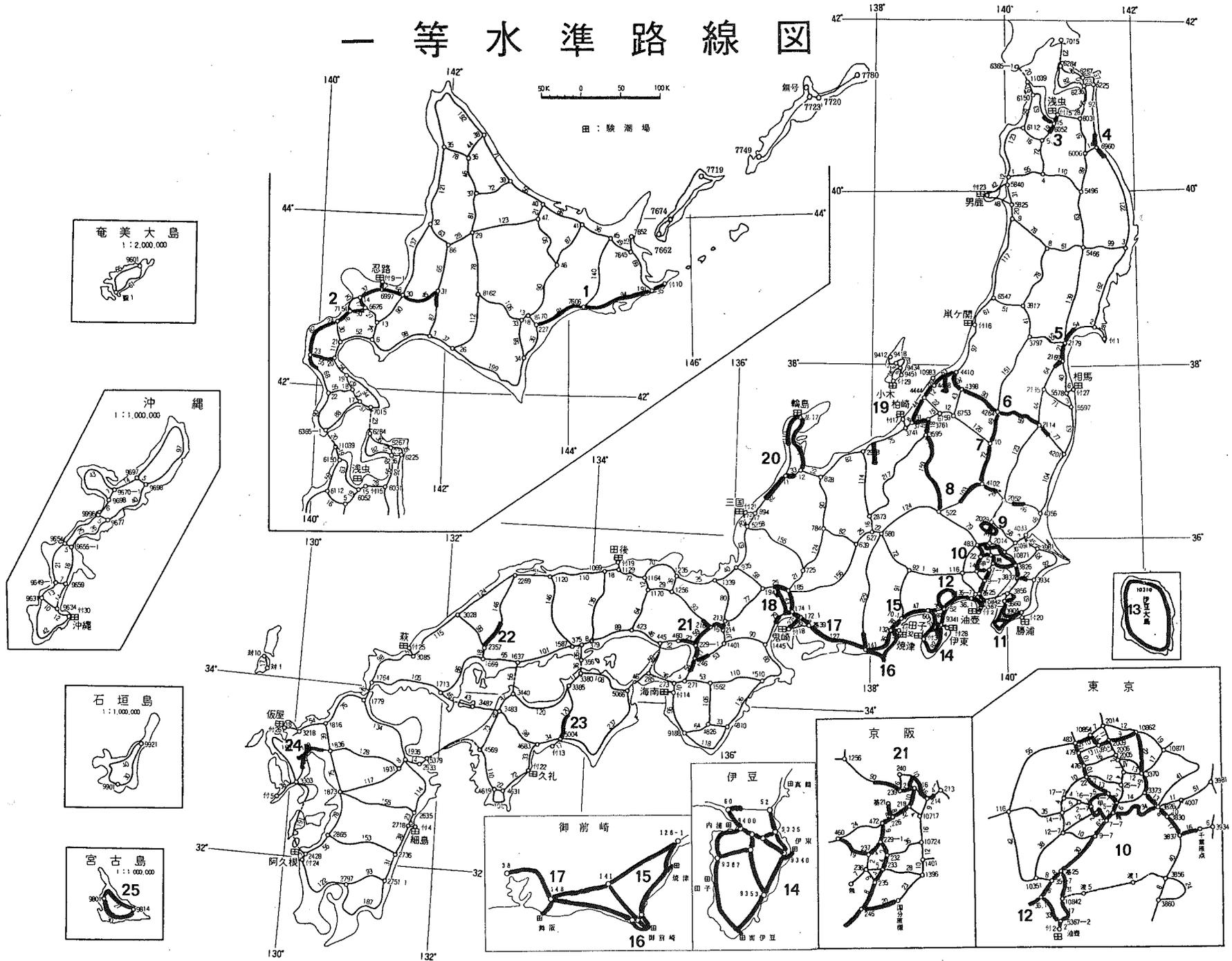
変動区 番 号	検 測 区 間	不動とした水準点番号	キ 口 数	検 測 期 間	頁	
5-16	自 静岡県榛原郡相良町 至 静岡県榛原郡御前崎町	B.M 2594 B.M 水管固定	B.M 140-1	6	自 平成5年 5月 至 平成5年 5月	
	自 静岡県掛川市 至 静岡県榛原郡相良町	B.M 140-1 B.M 準基1354	B.M 140-1	30	自 平成5年 7月 至 平成5年 7月	
	自 静岡県榛原郡御前崎町 至 静岡県榛原郡御前崎町	B.M 御前崎測候所 水準標石 B.M 水管東補助点	B.M 御前崎測候所 水準標石	1	自 平成5年 7月 至 平成5年 7月	
	自 静岡県掛川市 至 静岡県榛原郡御前崎町	B.M 140-1 B.M 御前崎検潮所 固定点	B.M 140-1	36	自 平成5年10月 至 平成5年10月	
	自 静岡県榛原郡御前崎町 至 静岡県榛原郡御前崎町	B.M 御前崎測候所 水準標石 B.M 水管東補助点	B.M 御前崎測候所 水準標石	2	自 平成5年10月 至 平成5年10月	
	自 静岡県掛川市 至 静岡県榛原郡相良町	B.M 140-1 B.M 準基1354	B.M 140-1	30	自 平成6年 1月 至 平成6年 1月	
	自 静岡県榛原郡御前崎町 至 静岡県榛原郡御前崎町	B.M 御前崎測候所 水準標石 B.M 水管東補助点	B.M 御前崎測候所 水準標石	2	自 平成6年 1月 至 平成6年 1月	
5-17	自 静岡県引佐郡三ヶ日町 至 静岡県掛川市	B.M 基38 B.M 140-1	B.M 140-1	58	自 平成5年 7月 至 平成5年 7月	
	自 静岡県浜名郡舞阪町 至 静岡県小笠郡浜岡町	B.M 舞阪検潮所 球分点 B.M 2597	B.M 2597	57	自 平成5年 7月 至 平成5年 7月	
	自 愛知県岡崎市 至 静岡県引佐郡三ヶ日町	B.M 167 B.M 基38	B.M 基38	56	自 平成5年 8月 至 平成5年 9月	
5-18	自 岐阜県大垣市 至 愛知県常滑市	B.M 191 B.M 附18	B.M 附18	107	自 平成5年10月 至 平成5年11月	
	自 愛知県名古屋市 至 愛知県豊明市	B.M 交172-1 B.M 基39	B.M 基39	4	自 平成5年11月 至 平成5年11月	
	自 岐阜県羽島市 至 愛知県名古屋市	B.M III4686 B.M 交174-1	B.M III4686	61	自 平成5年10月 至 平成5年11月	
	自 岐阜県大垣市 至 岐阜県養老郡養老町	B.M III4674 B.M III4676	B.M III4674	5	自 平成5年11月 至 平成5年11月	
	自 岐阜県大垣市 至 岐阜県羽島市	B.M 191 B.M II 3357	B.M 191	23	自 平成5年11月 至 平成5年11月	
	自 三重県桑名市 至 三重県四日市市	B.M 交1469 B.M 1458	B.M 交1469	24	自 平成5年10月 至 平成5年11月	
5-19	自 新潟県新潟市 至 新潟県北蒲原郡安田町	B.M 2204 B.M 交4398	B.M 2204	44	自 平成5年 9月 至 平成5年12月	
	自 新潟県新潟市 至 新潟県新津市	B.M 4420 B.M II 2025	B.M 4420	23	自 平成5年 8月 至 平成5年 9月	
	自 新潟県上越市 至 新潟県上越市	B.M 建No, 0 B.M T-6	B.M 建No, 0	14	自 平成5年 9月 至 平成5年 9月	
	自 新潟県新潟市 至 新潟県小千谷市	B.M 4420 B.M 交3595	B.M 4420	147	自 平成5年 7月 至 平成5年 8月	
	自 新潟県柏崎市 至 新潟県柏崎市	B.M 交3745 B.M 3742	B.M 4420	6	自 平成5年 8月 至 平成5年 8月	

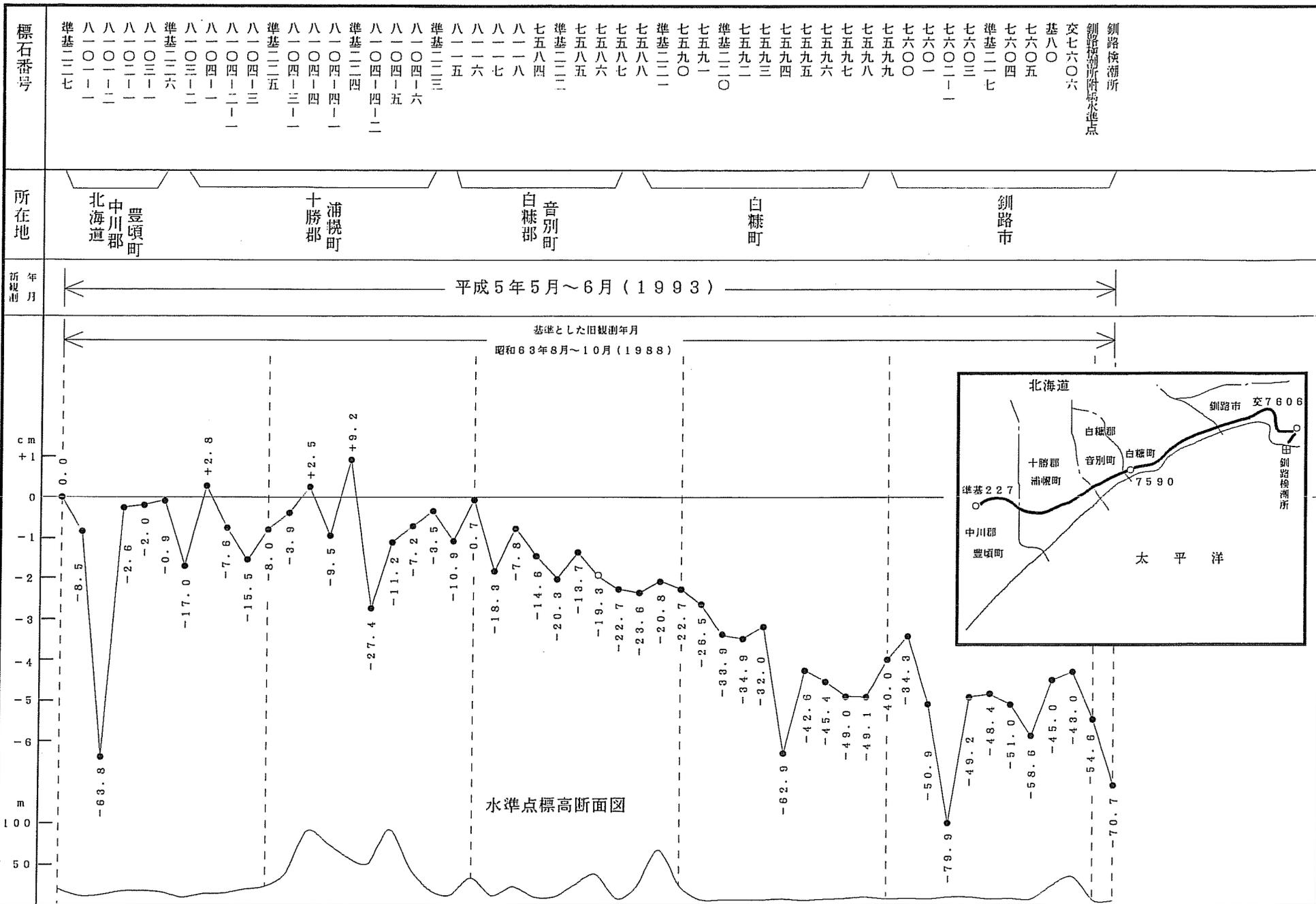
変動区 番 号	検 測 区 間	不動とした水準点番号	キ ロ 数	検 測 期 間	頁	
5-20	自 石川県輪島市 至 富山県高岡市	B.M 基17 B.M 交12	B.M 基17	112	自 平成5年 7月 至 平成5年 9月	
	自 石川県輪島市 至 石川県羽咋郡富来町	B.M 基17 B.M 9253	B.M 基17	46	自 平成5年 7月 至 平成5年 8月	
	自 石川県輪島市 至 石川県輪島市	B.M 基17 B.M 輪島験潮場 固定点	B.M 基17	0	自 平成5年 7月 至 平成5年 7月	
	自 石川県河北郡津幡町 至 石川県小松市	B.M 基16 B.M 878	B.M 基16	50	自 平成5年 8月 至 平成5年 9月	
5-21	自 兵庫県西宮市 至 滋賀県大津市	B.M 交460 B.M 基20	B.M 基20	96	自 平成5年10月 至 平成6年 2月	
	自 大阪府茨木市 至 大阪府茨木市	B.M 基21 B.M 226	B.M 基20	8	自 平成5年10月 至 平成5年10月	
	自 京都府京都市 至 京都府京都市	B.M 1296 B.M 交216	B.M 基20	11	自 平成6年 1月 至 平成6年 2月	
	自 大阪府大阪市 至 大阪府阪南市	B.M 交229 B.M 264	B.M 基20	59	自 平成5年10月 至 平成5年11月	
	自 大阪府堺市 至 大阪府柏原市	B.M 交246 B.M 国分原標	B.M 基20	20	自 平成5年10月 至 平成5年10月	
5-22	自 広島県広島市 至 広島県三次市	B.M 交2357 B.M 2336	B.M 交2357	43	自 平成6年 1月 至 平成6年 2月	
5-23	自 徳島県三好郡山城町 至 高知県高知市	B.M 5034 B.M 交5004	B.M 5034	59	自 平成5年11月 至 平成6年 1月	
5-24	自 佐賀県杵島郡有明町 至 福岡県柳川市	B.M 基52 B.M 3356	B.M 基52	49	自 平成6年 1月 至 平成6年 2月	
	自 佐賀県佐賀市 至 佐賀県佐賀郡大和町	B.M 3346 B.M 佐賀県基盤 水準点	B.M 基52	10	自 平成6年 2月 至 平成6年 2月	
	自 佐賀県鹿島市 至 佐賀県杵島郡有明町	B.M 3331 B.M 準基3332	B.M 基52	2	自 平成6年 1月 至 平成6年 1月	
	自 佐賀県杵島郡有明町 至 佐賀県佐賀郡諸富町	B.M 準基3332 B.M 3350	B.M 基52	45	自 平成6年 1月 至 平成6年 2月	
	自 佐賀県佐賀郡久保田町 至 佐賀県小城郡芦刈町	B.M 3342 B.M II 2000	B.M 基52	4	自 平成6年 2月 至 平成6年 2月	
5-25	自 沖縄県平良市 至 沖縄県平良市	B.M 9801 B.M 9801	B.M 9801	58	自 平成5年 6月 至 平成5年 7月	
	自 沖縄県平良市 至 沖縄県平良市	B.M 9801 B.M 平良港検潮所 球分体	B.M 9801	0	自 平成5年 7月 至 平成5年 7月	

3. 水準点変動図の説明

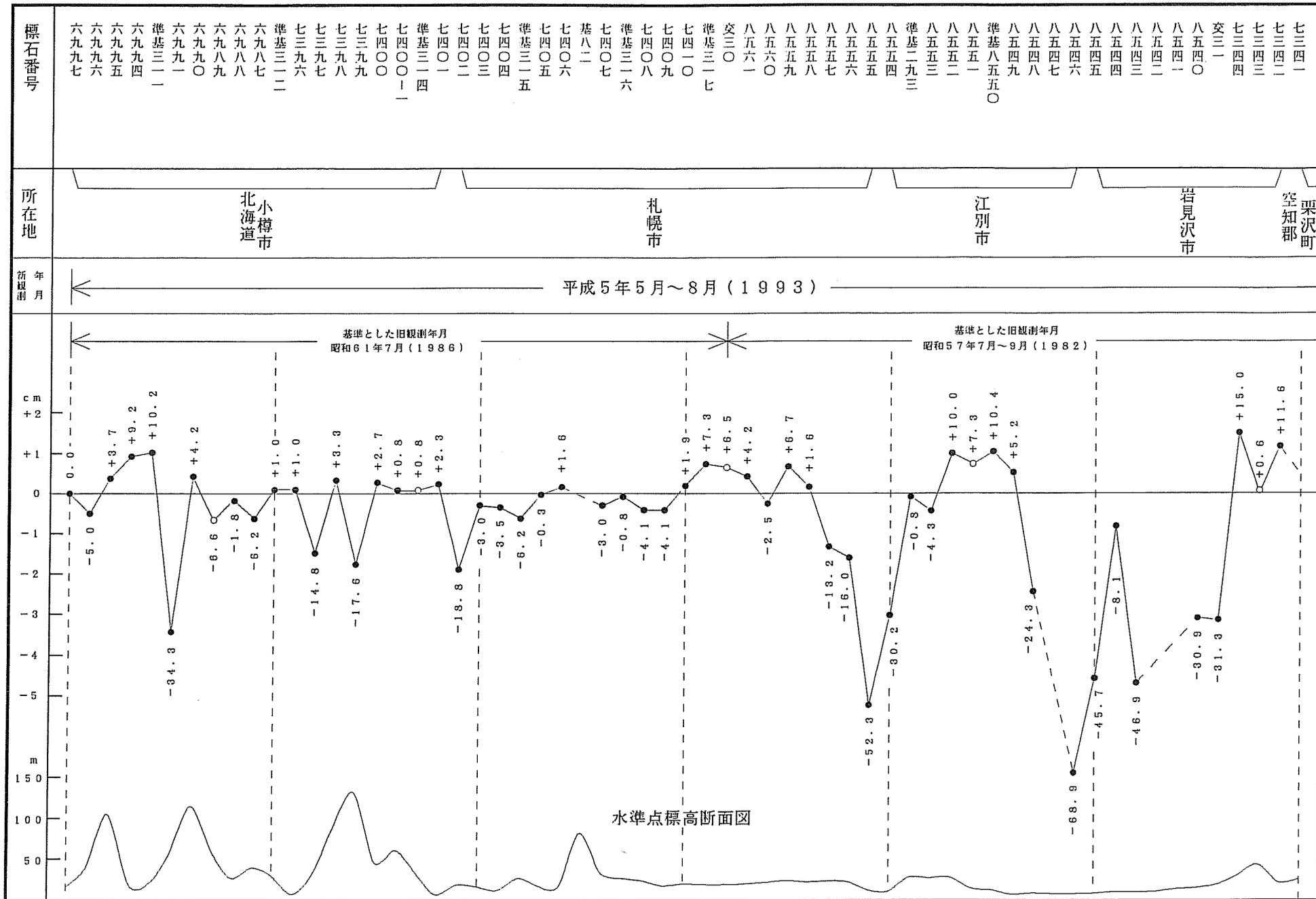
- (1) 変動量は、すべて水準点間の新観測比高から、旧観測比高を減じた値を、仮不動点を基準にして累加したものである。
- (2) 変動図中、再設、傾斜改埋等のため比較不能のものについては、点線で示し、それらが図の両端にあるときは空白とした。
- (3) 前回観測から今回観測の間に移転改埋をした点は白ぬきで表示した。
- (4) 昭和39年度から、建設省道路局長と国土地理院長との覚え書きにより、道路管理者の設けた地点標の1 km毎に、併設した一等水準点（道路水準点）には 001-181のような番号をつけている。

一等水準路線図





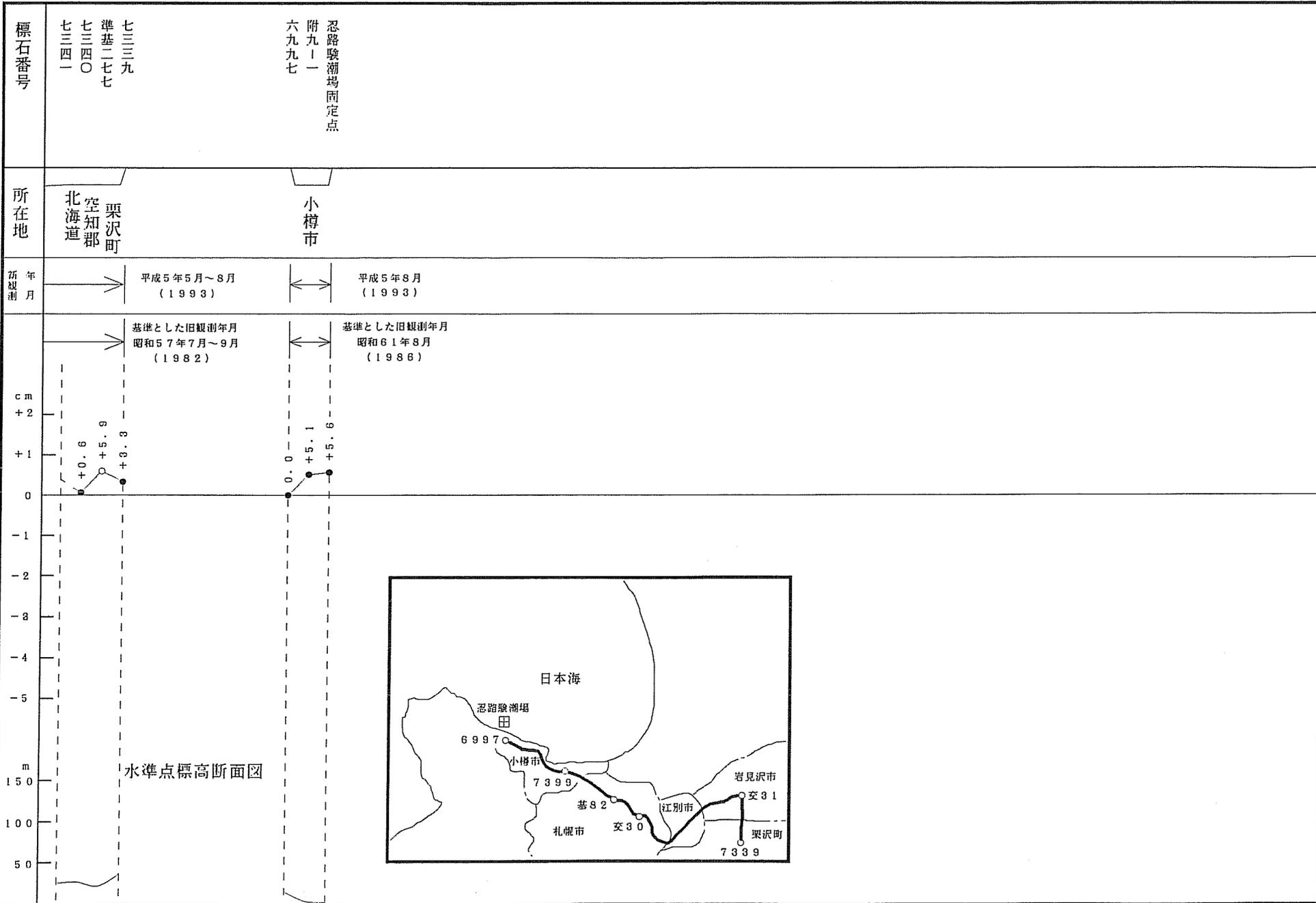
5-2-1 自 北海道小樽市 至 北海道空知郡栗沢町



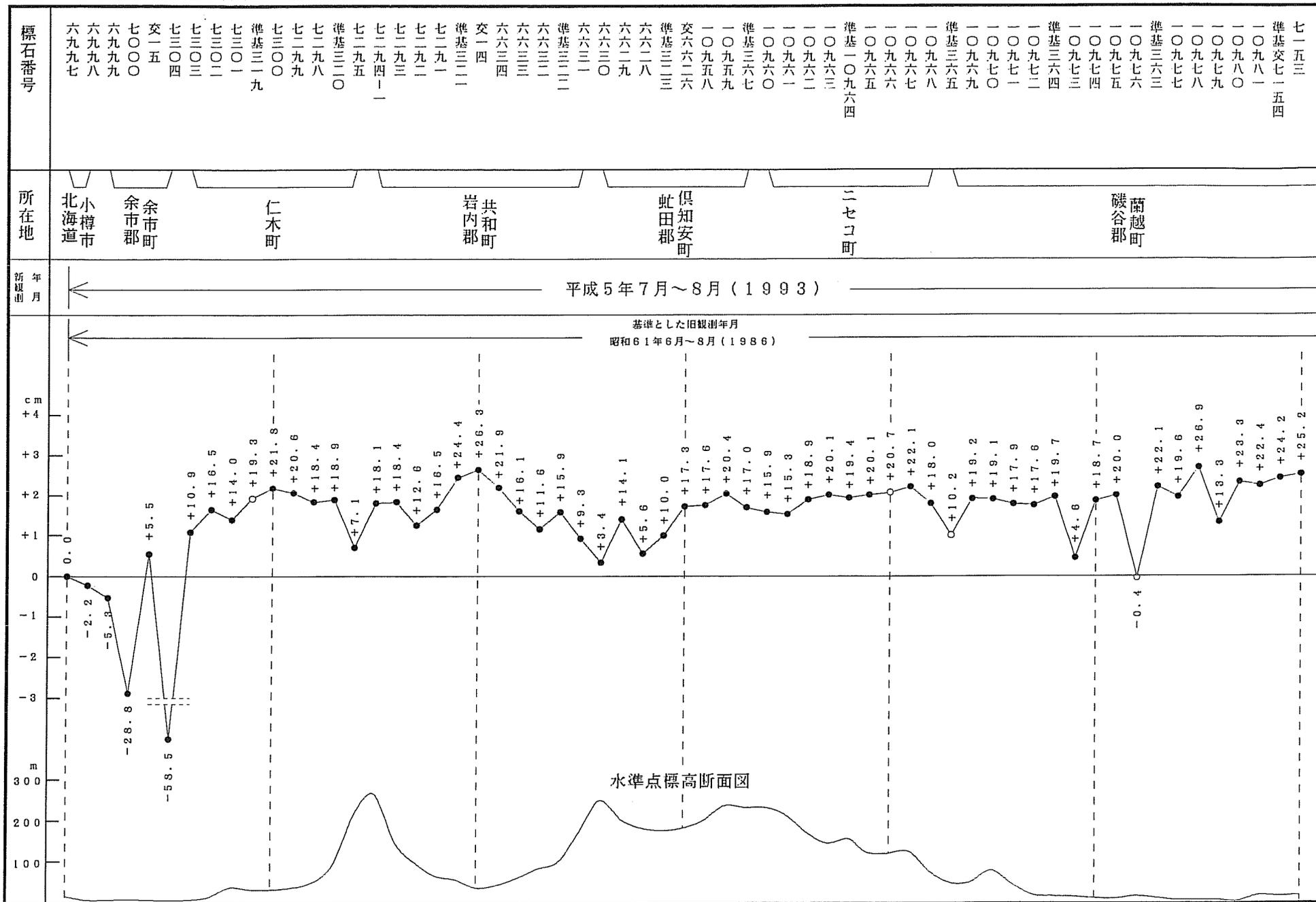
5-2-1

自 北海道小樽市
至 北海道空知郡栗沢町

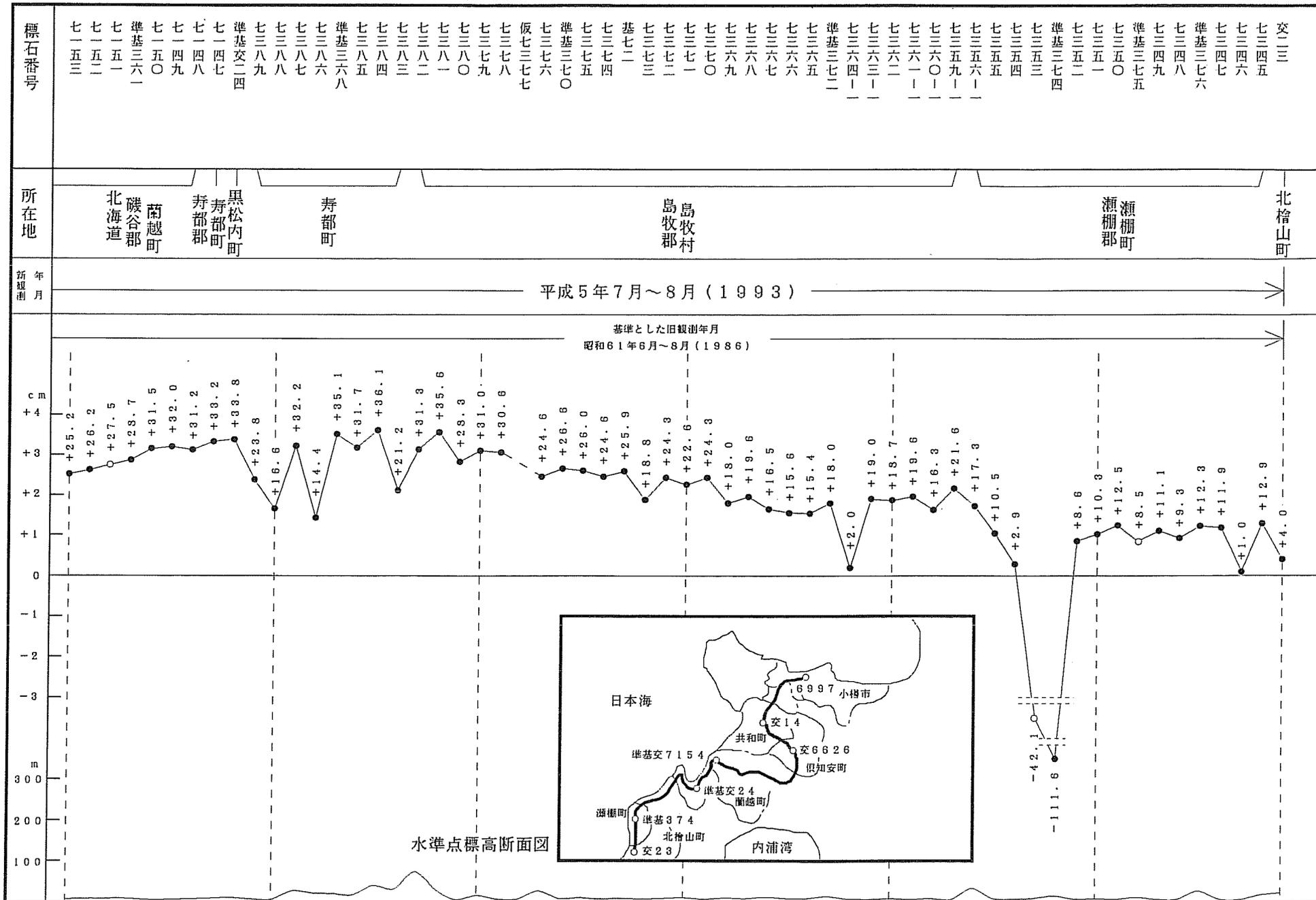
北海道小樽市

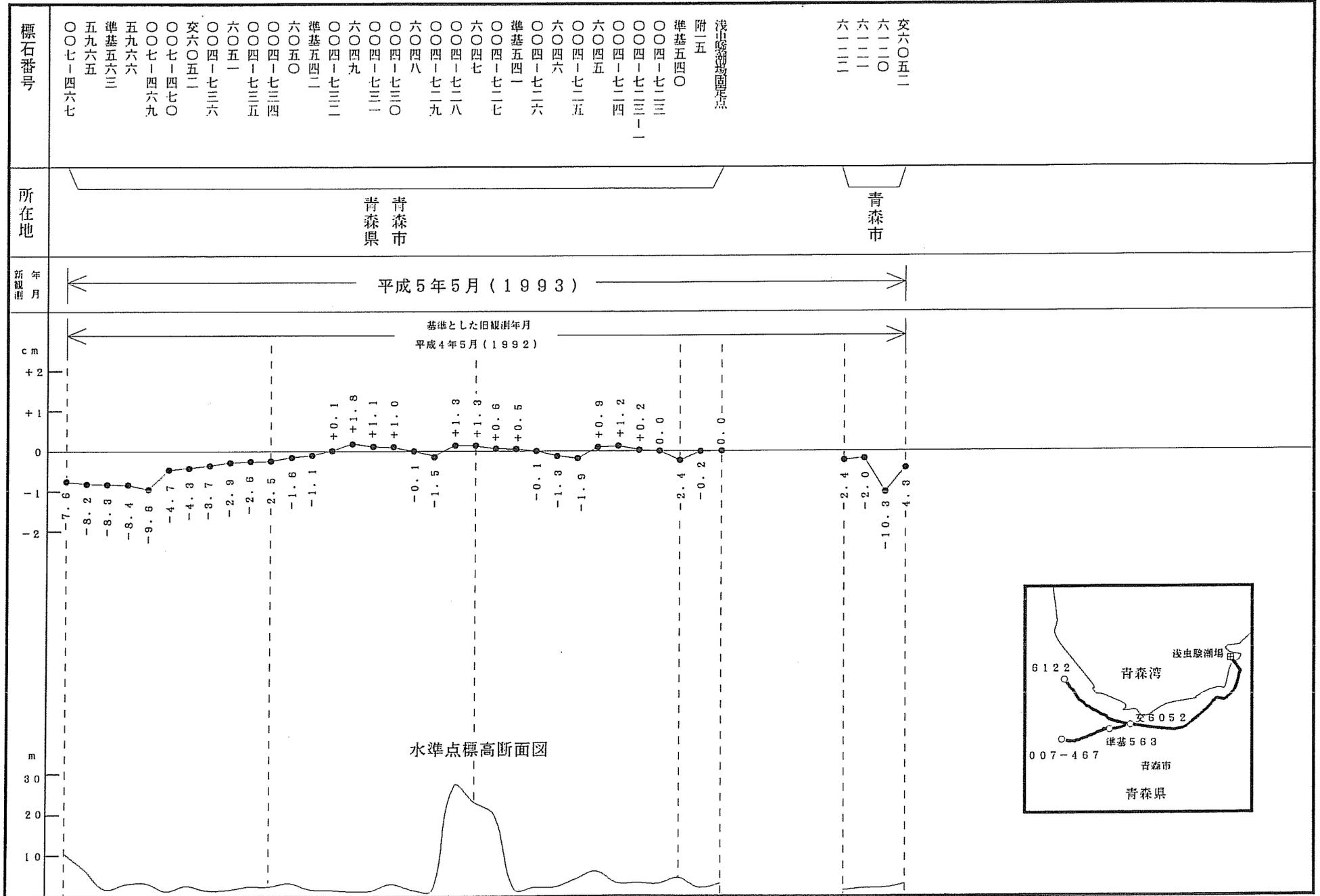


5-2-II 自 北海道小樽市 至 北海道瀬棚郡北檜山町

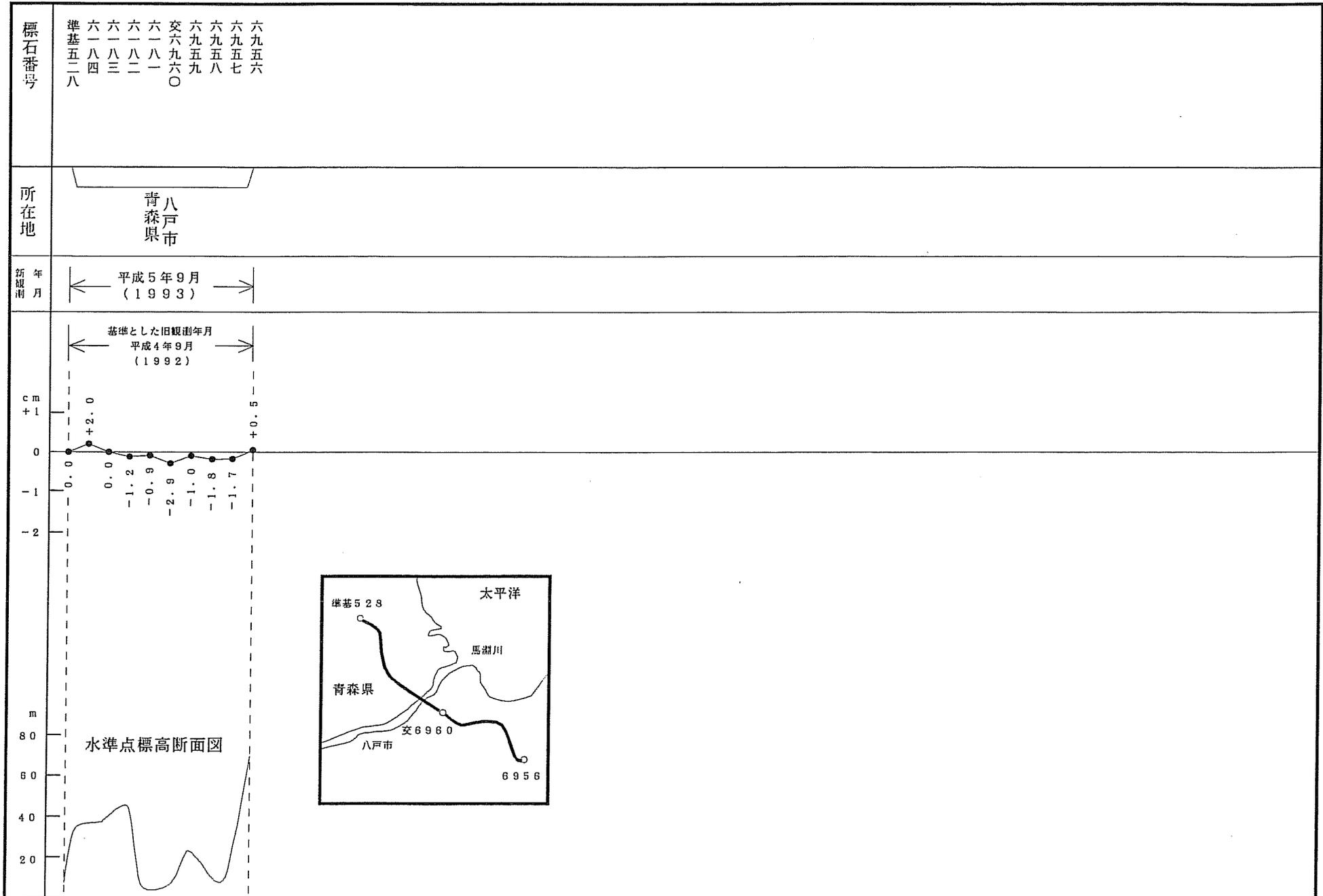


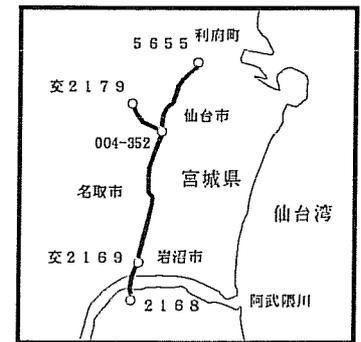
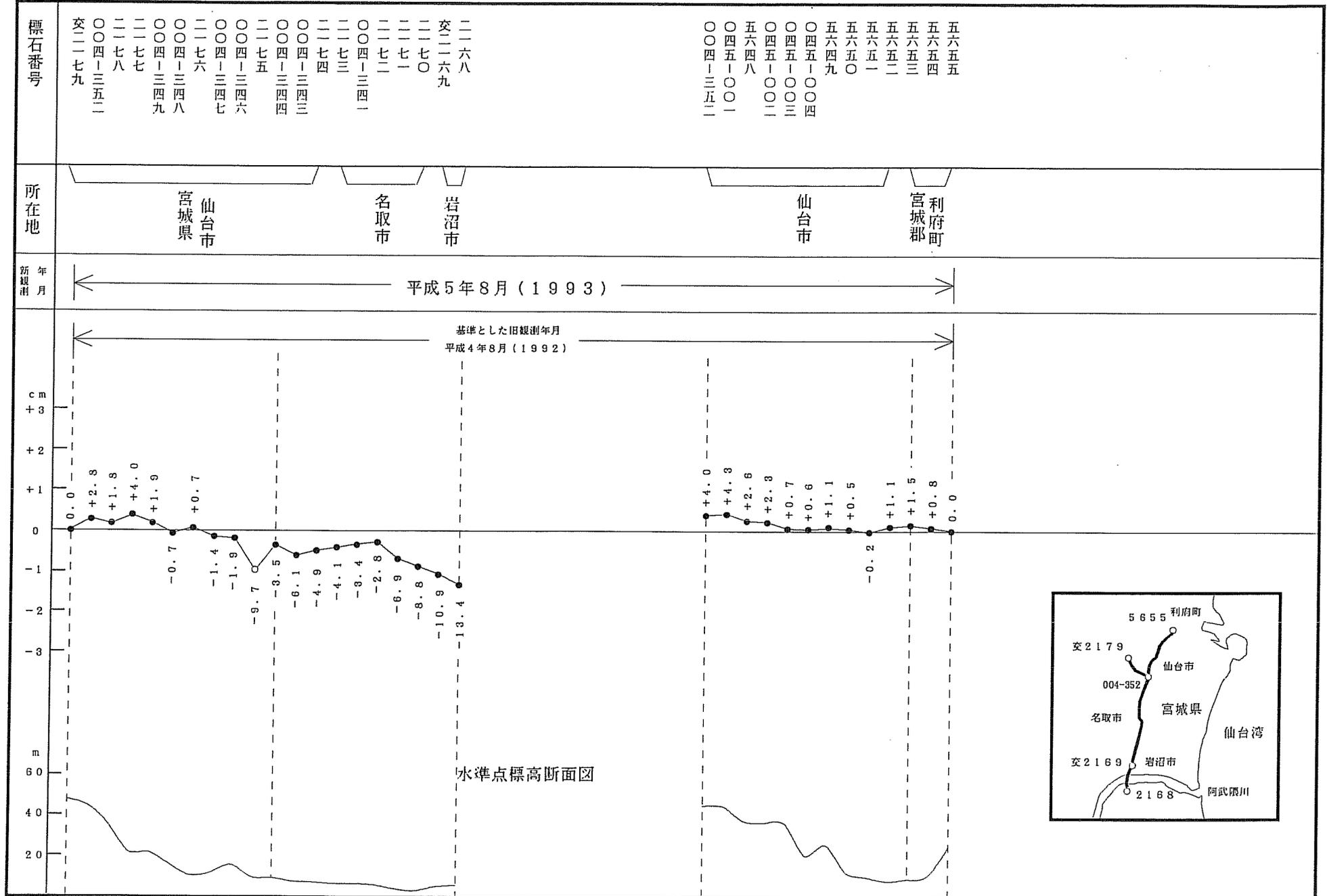
5-2-II 自 北海道小樽市 至 北海道瀬棚郡北檜山町

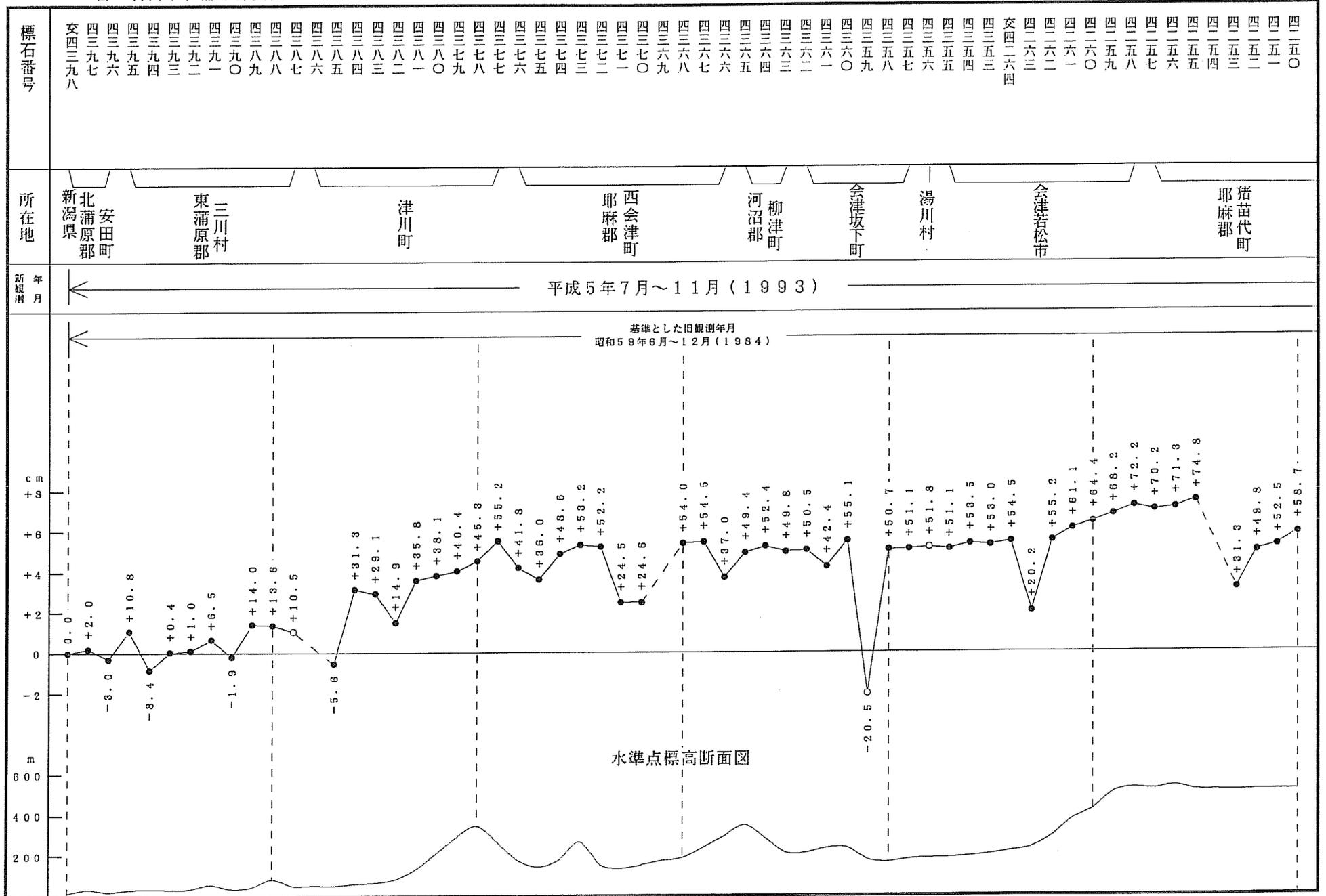




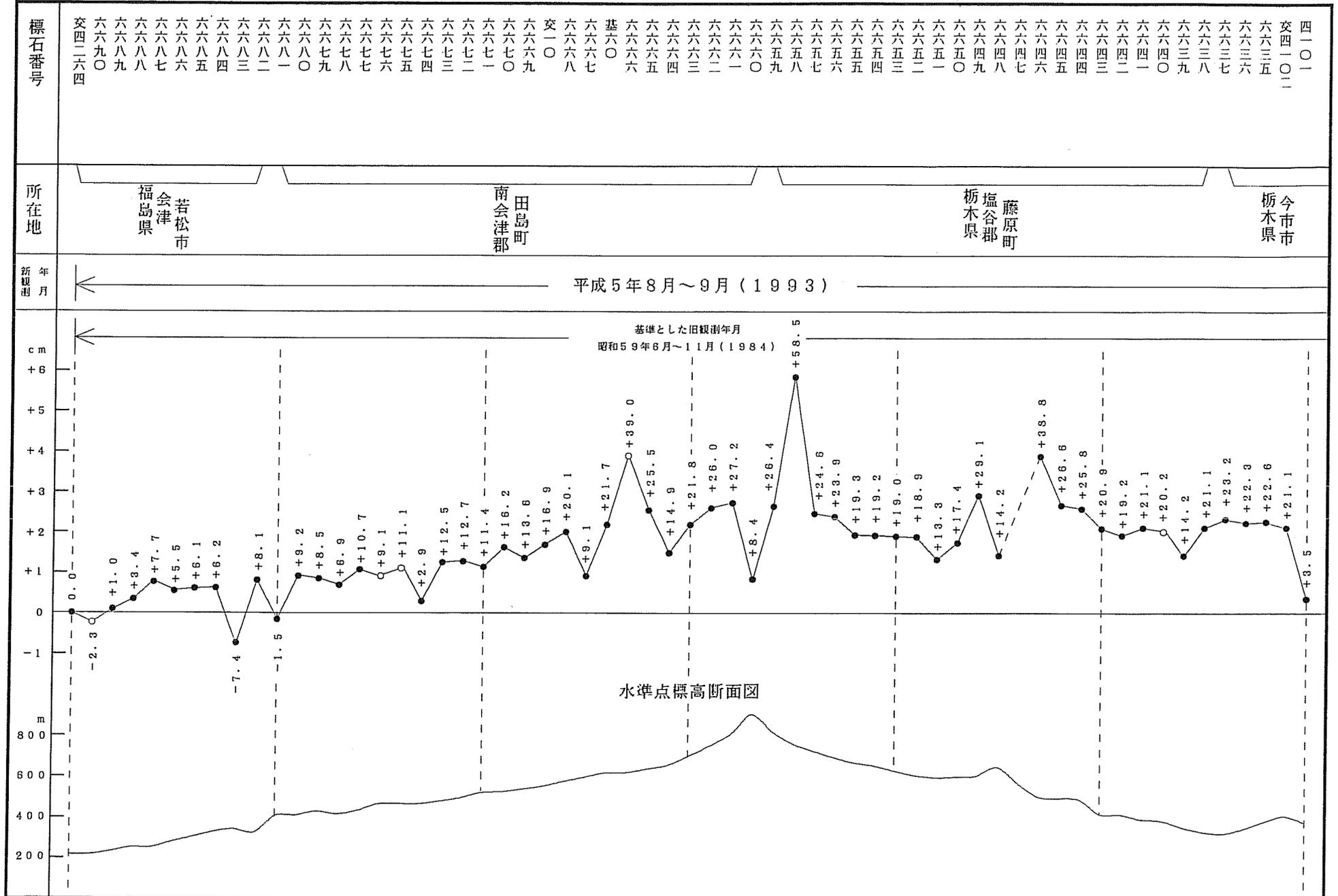
5-4 自 青森県八戸市 至 青森県八戸市



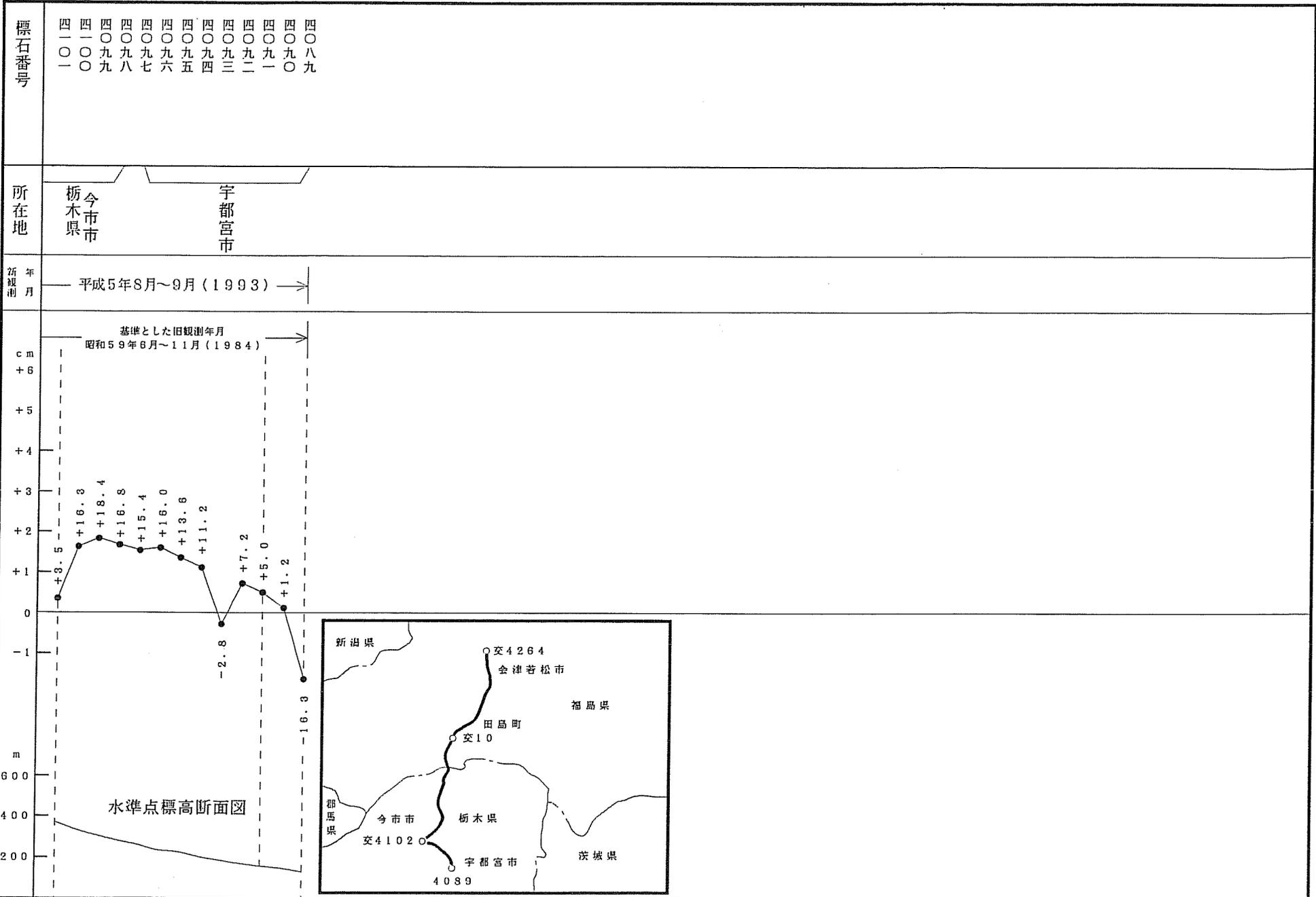


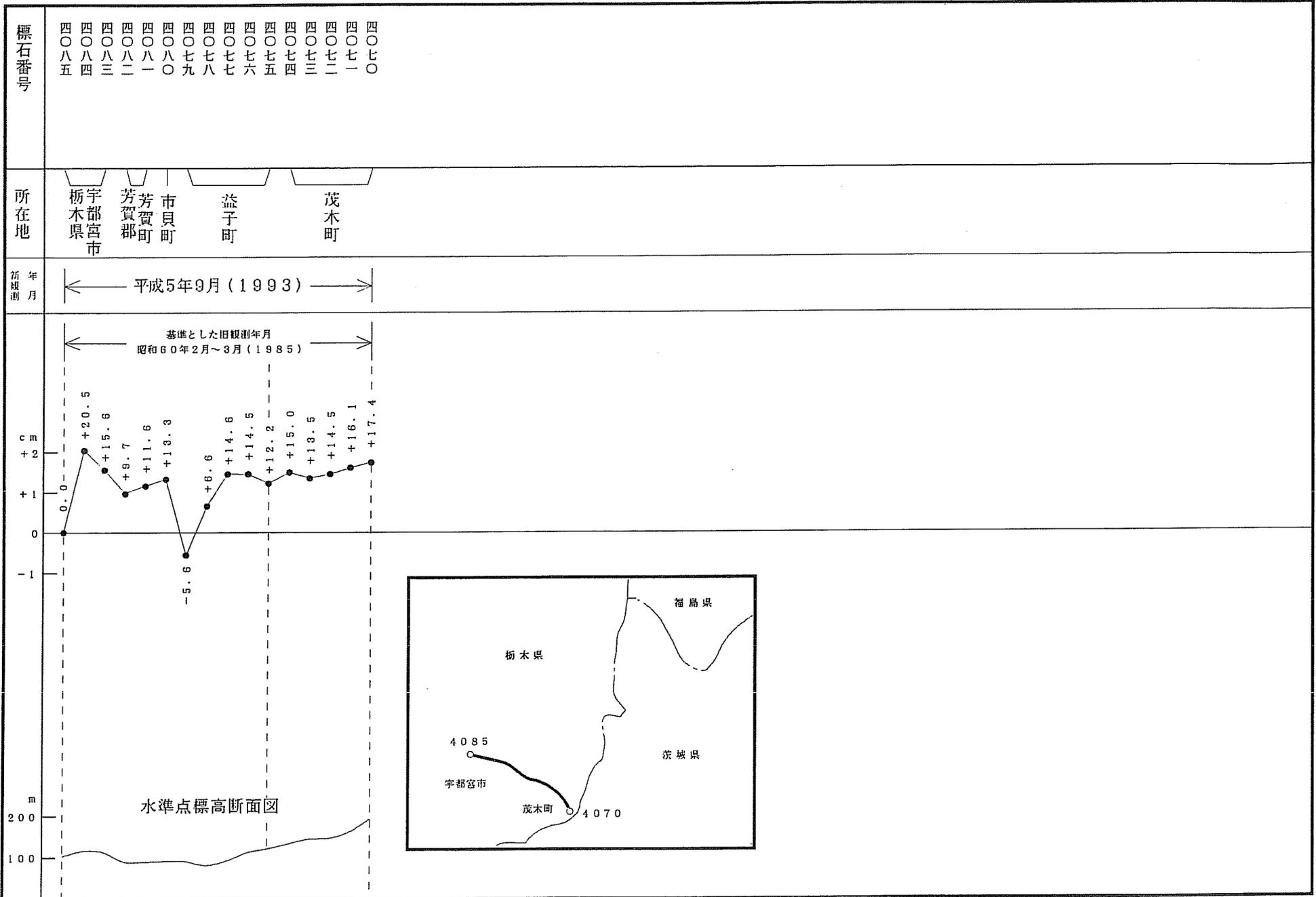


5-7-I 自 福島県会津若松市 至 栃木県田宇都宮市

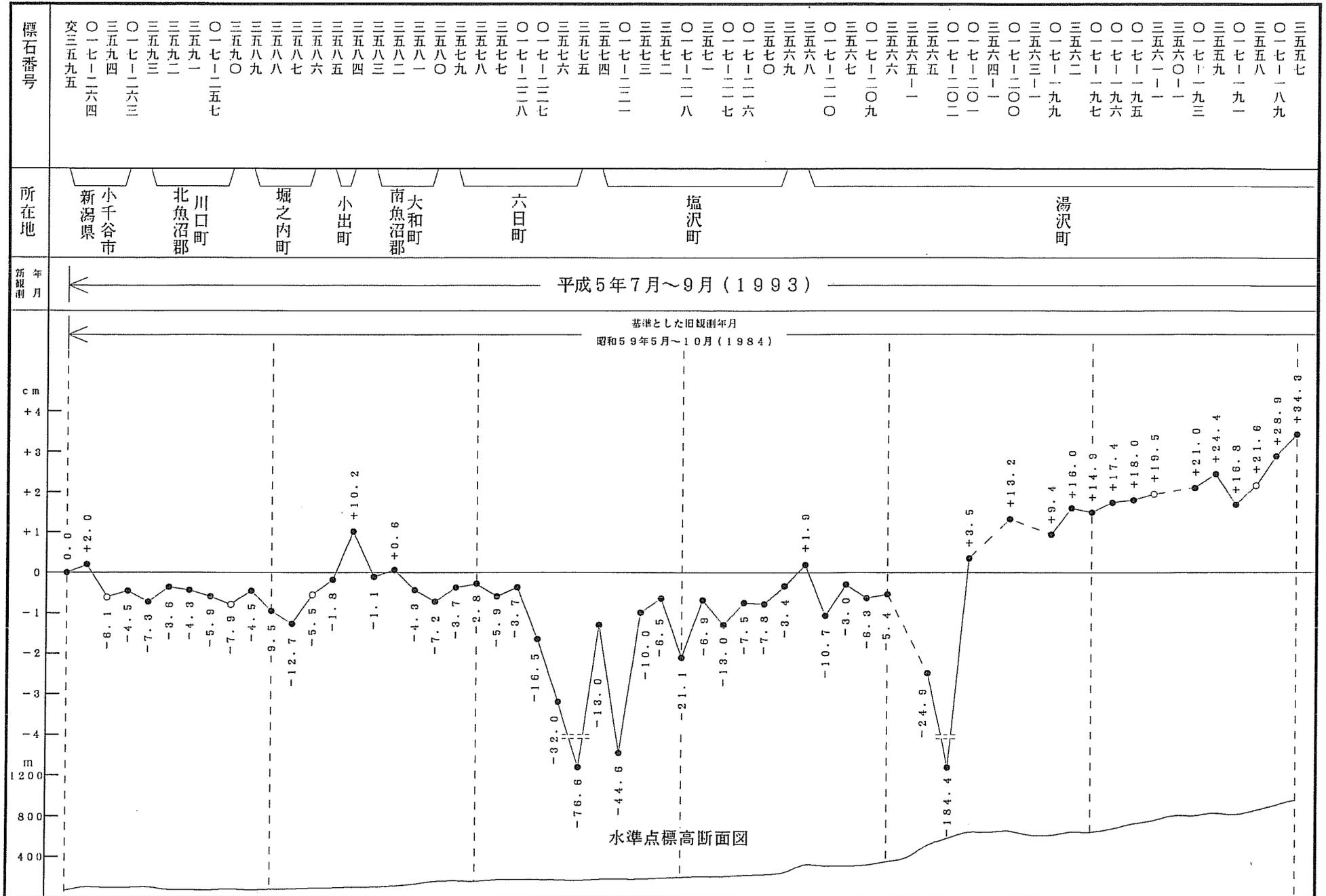


5-7-I 自 福島県会津若松市 至 栃木県宇都宮市

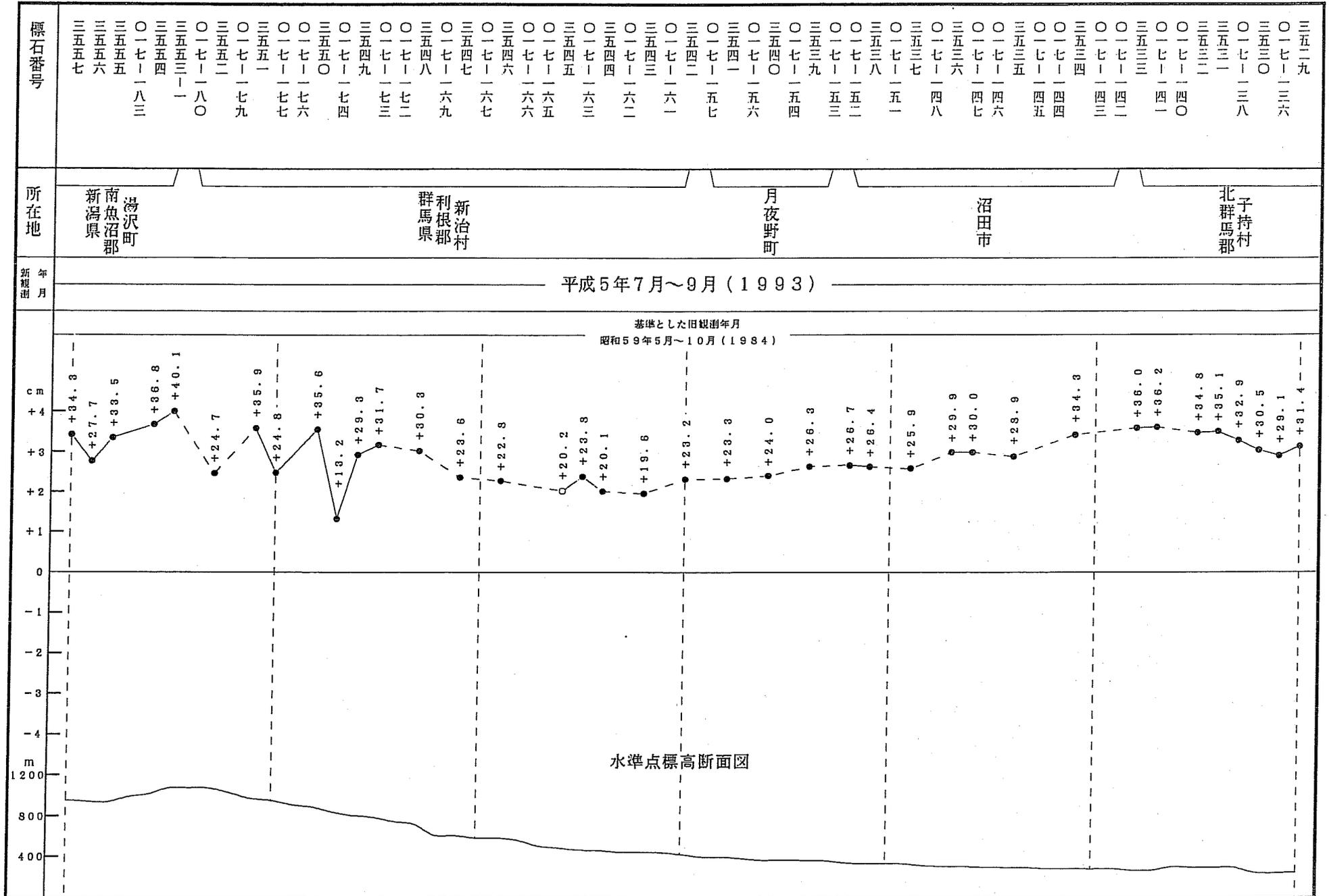




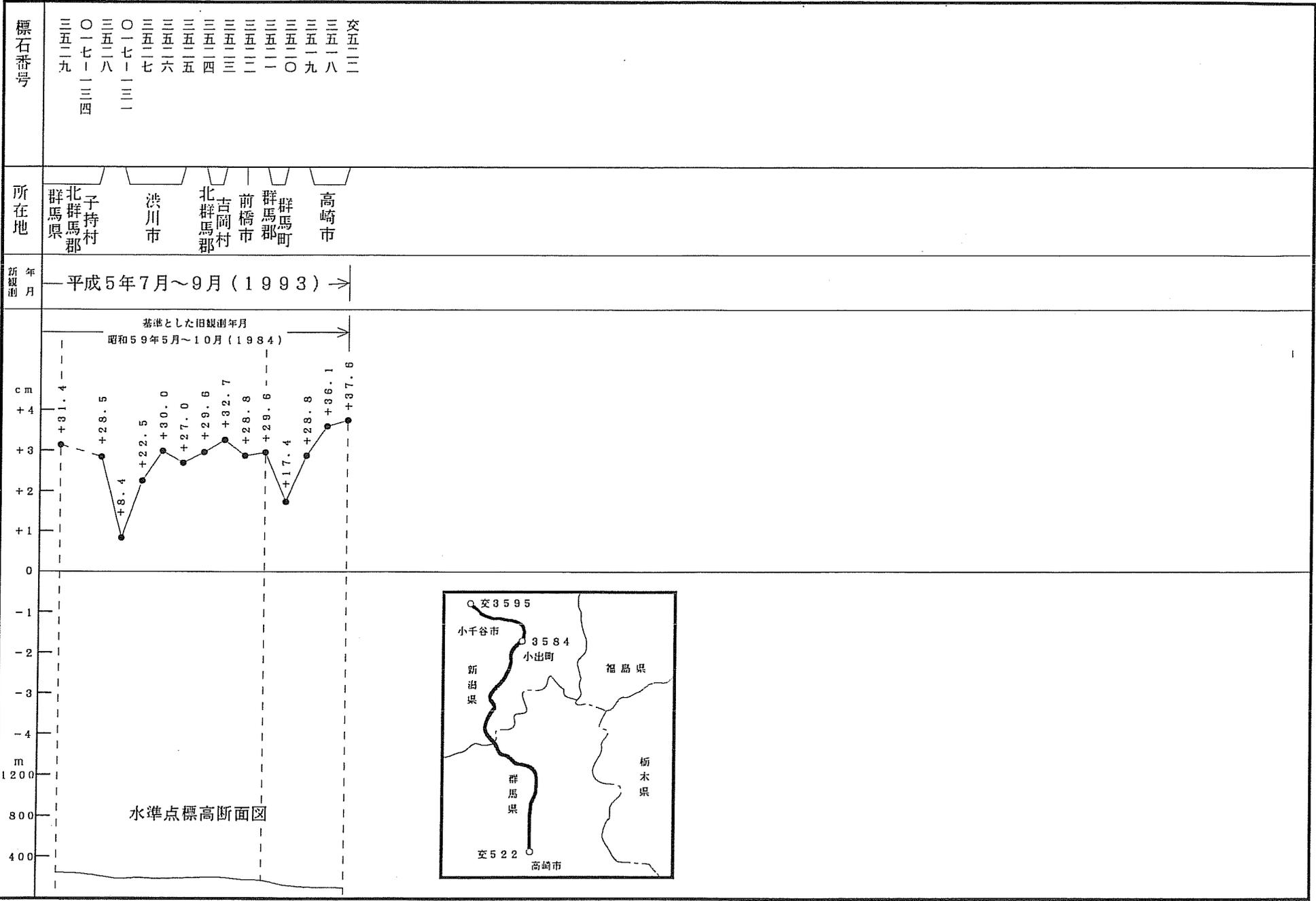
5-8-I 自 新潟県小千谷市 至 群馬県高崎市



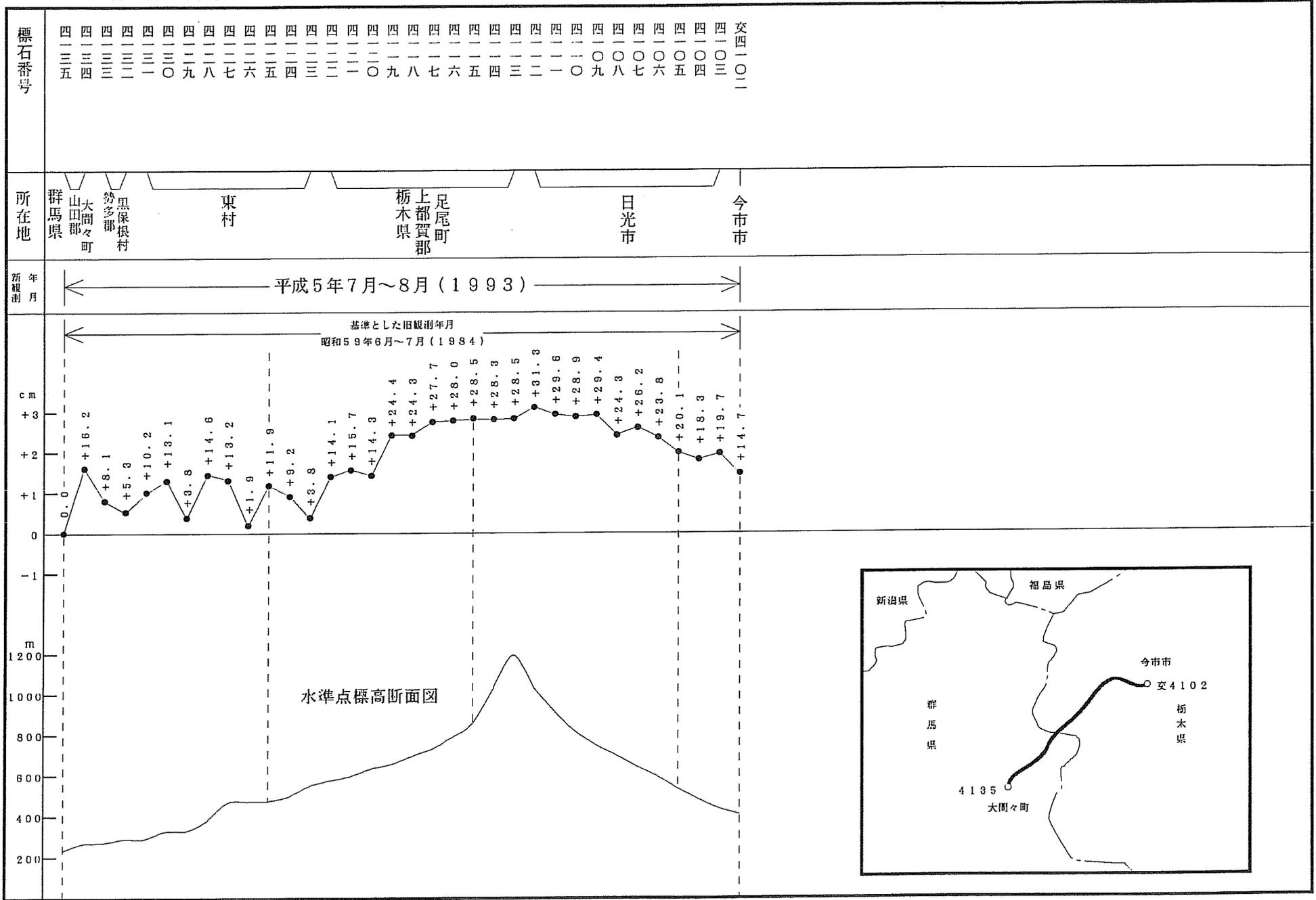
5-8-I 自 新潟県小千谷市 至 群馬県高崎市

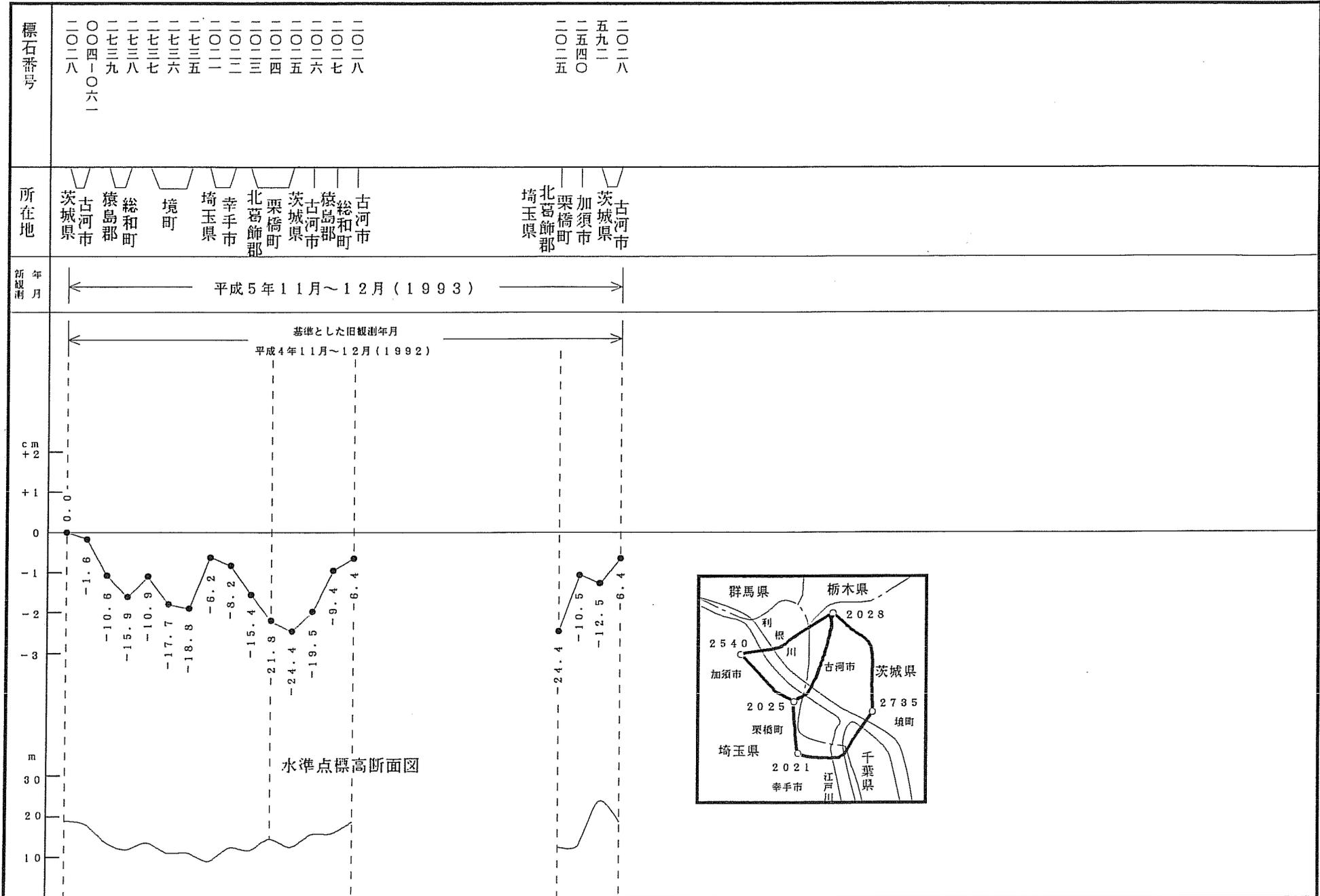


5-8-I 自 新潟県小千谷市 至 群馬県高崎市

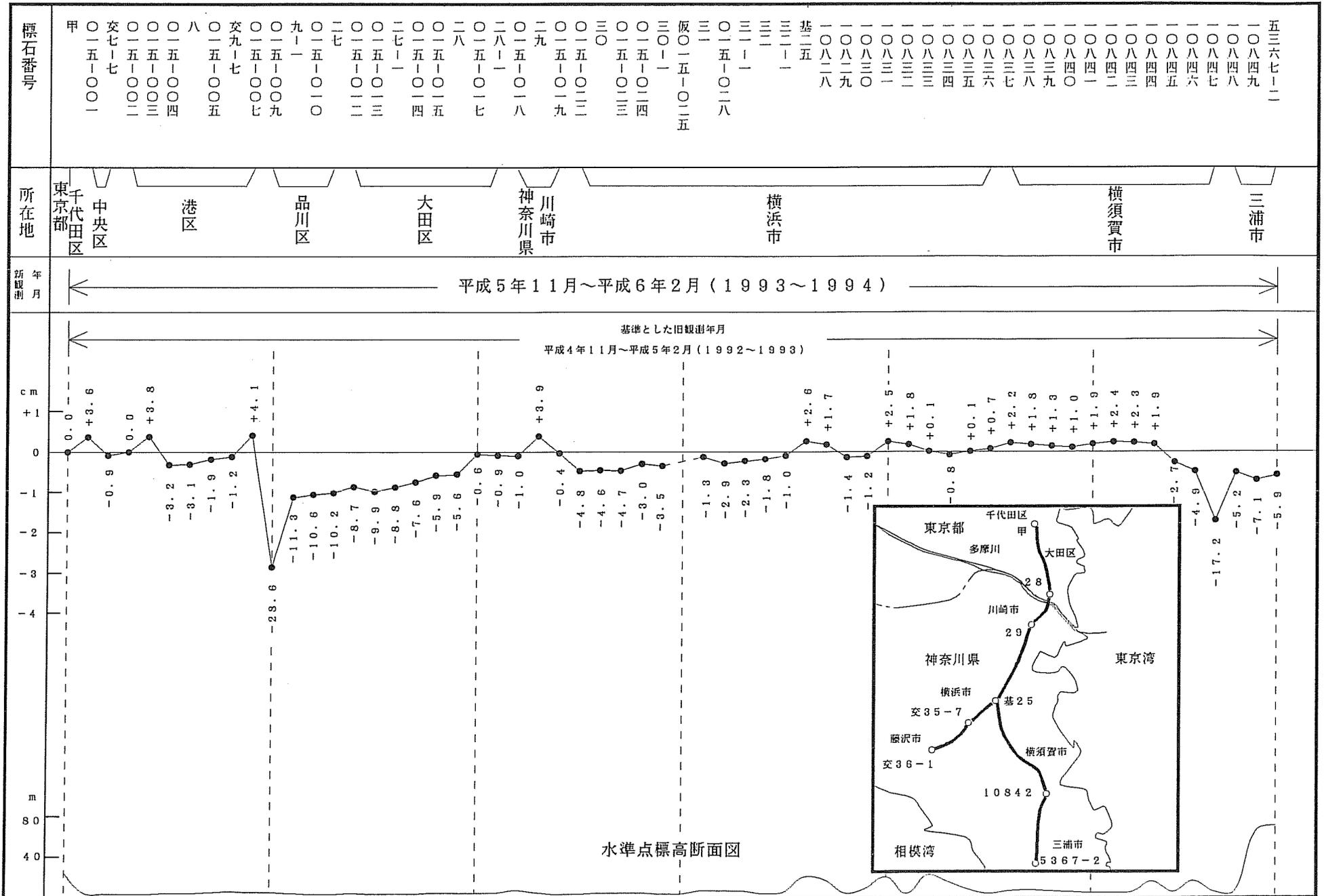


5-8-II 自 群馬県山田郡大間々町 至 栃木県今市市

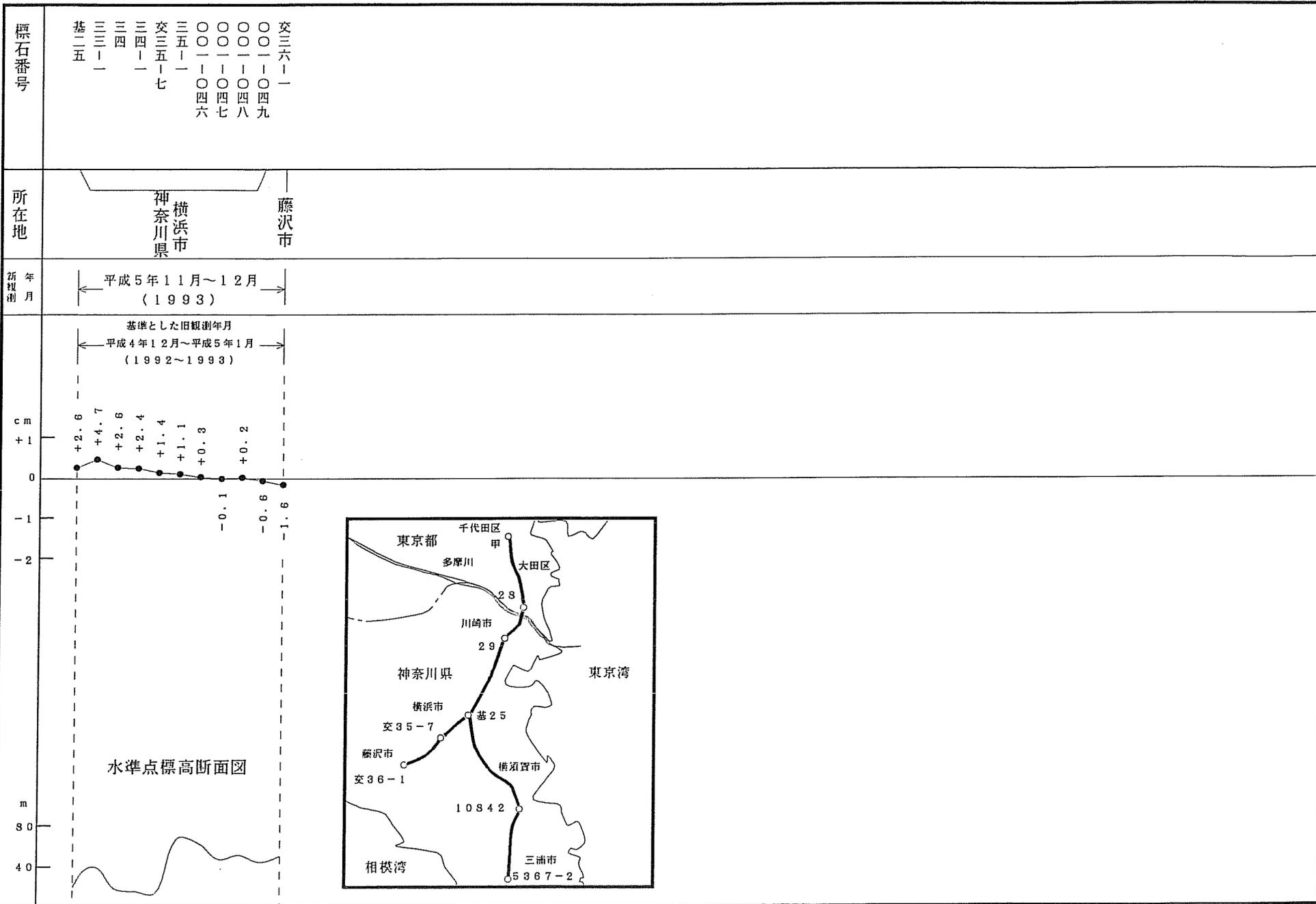




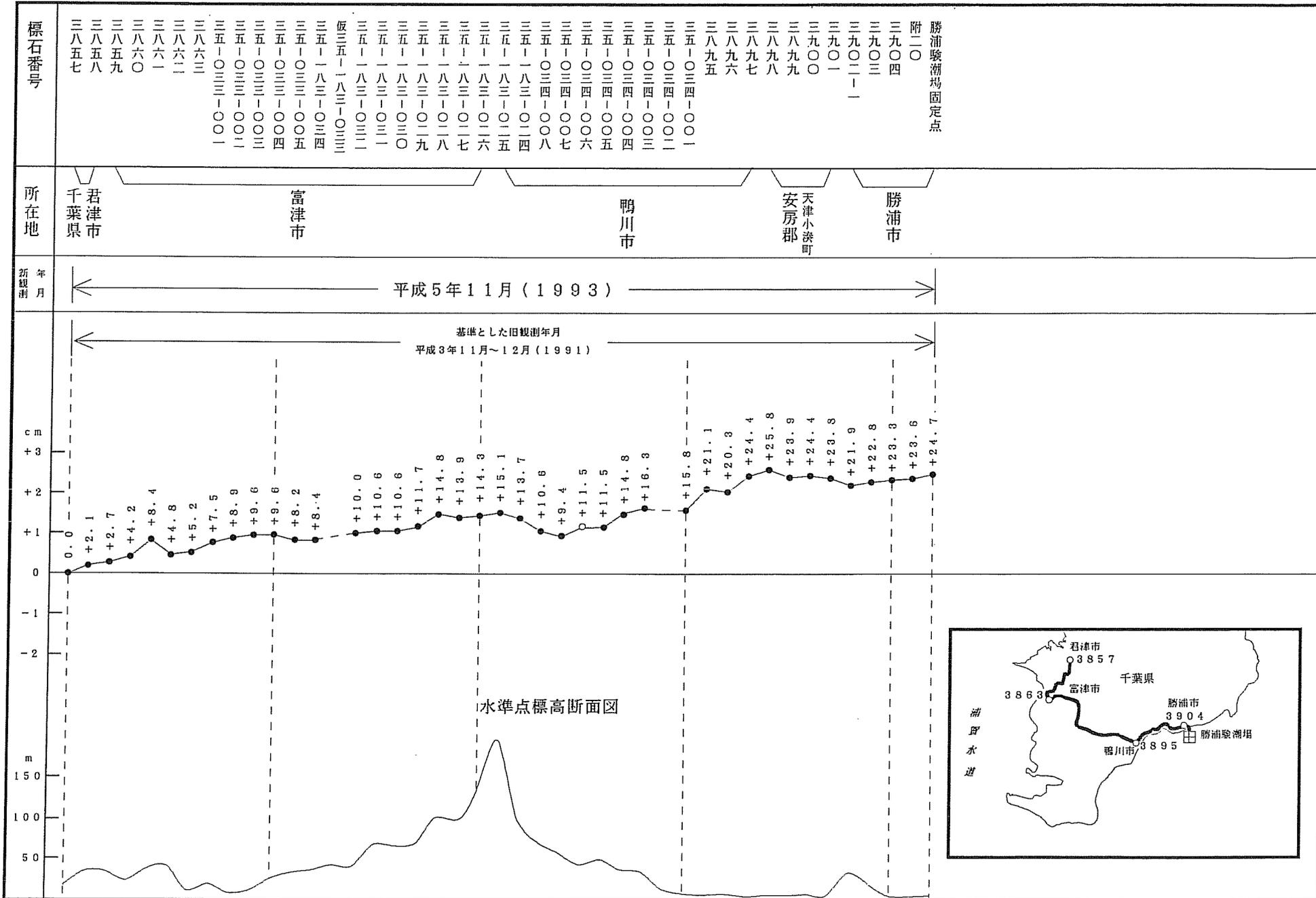
5-10-III 自 東京都千代田区 至 神奈川県三浦市



5-10-IV 自 神奈川県横浜市 至 神奈川県藤沢市

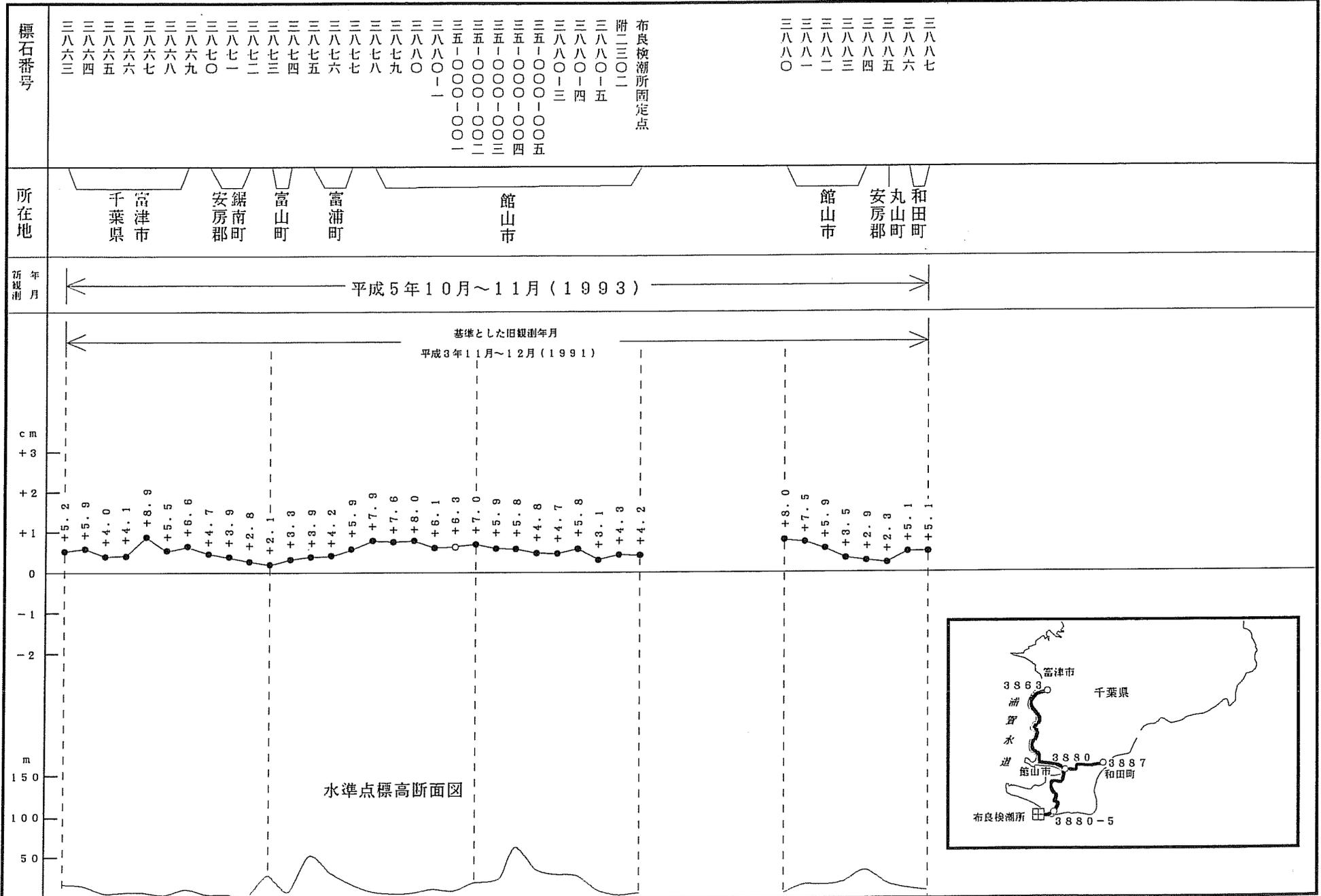


5-11-I 自 千葉県君津市 至 千葉県勝浦市

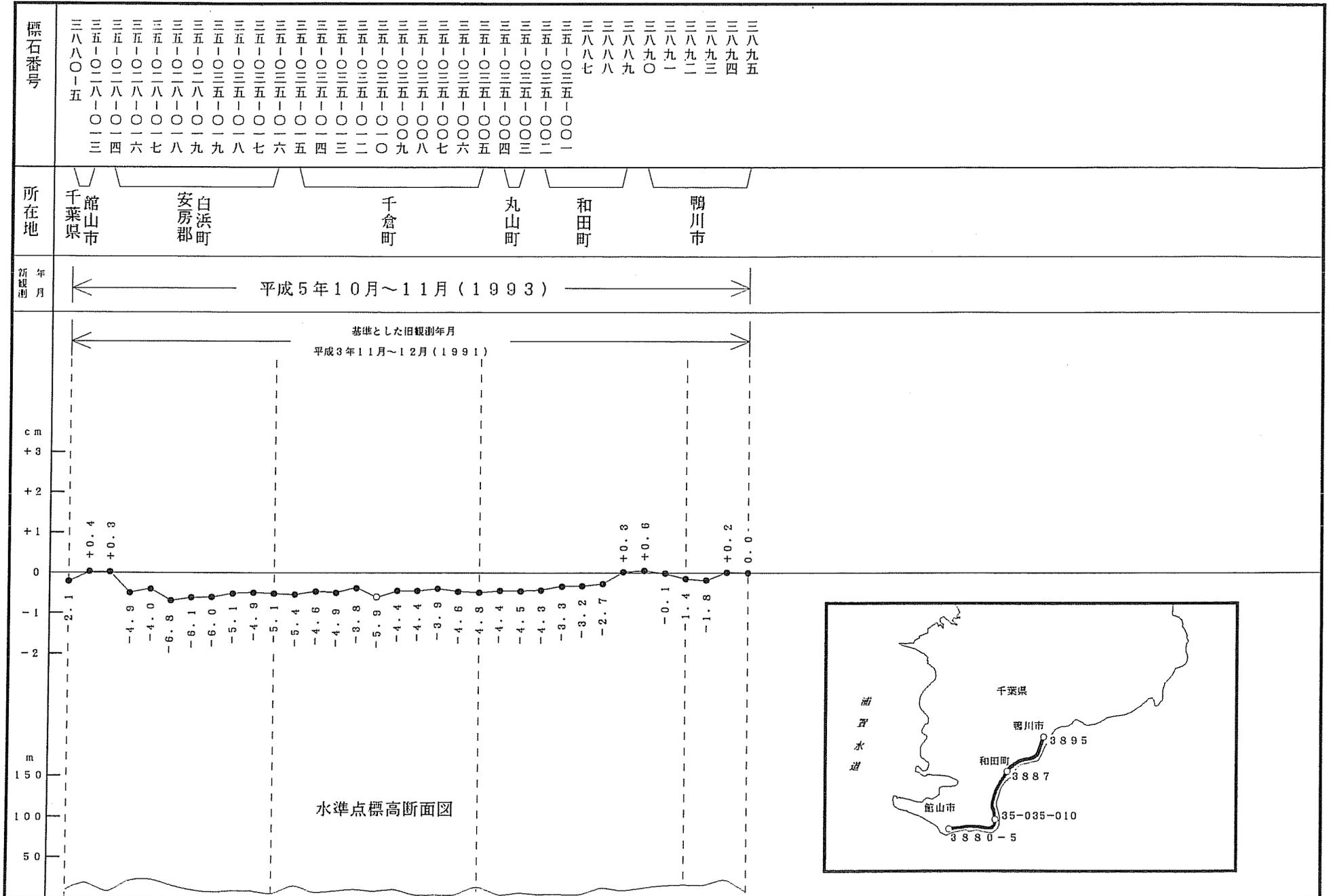


5-11-II 自 千葉県富津市 至 千葉県館山市

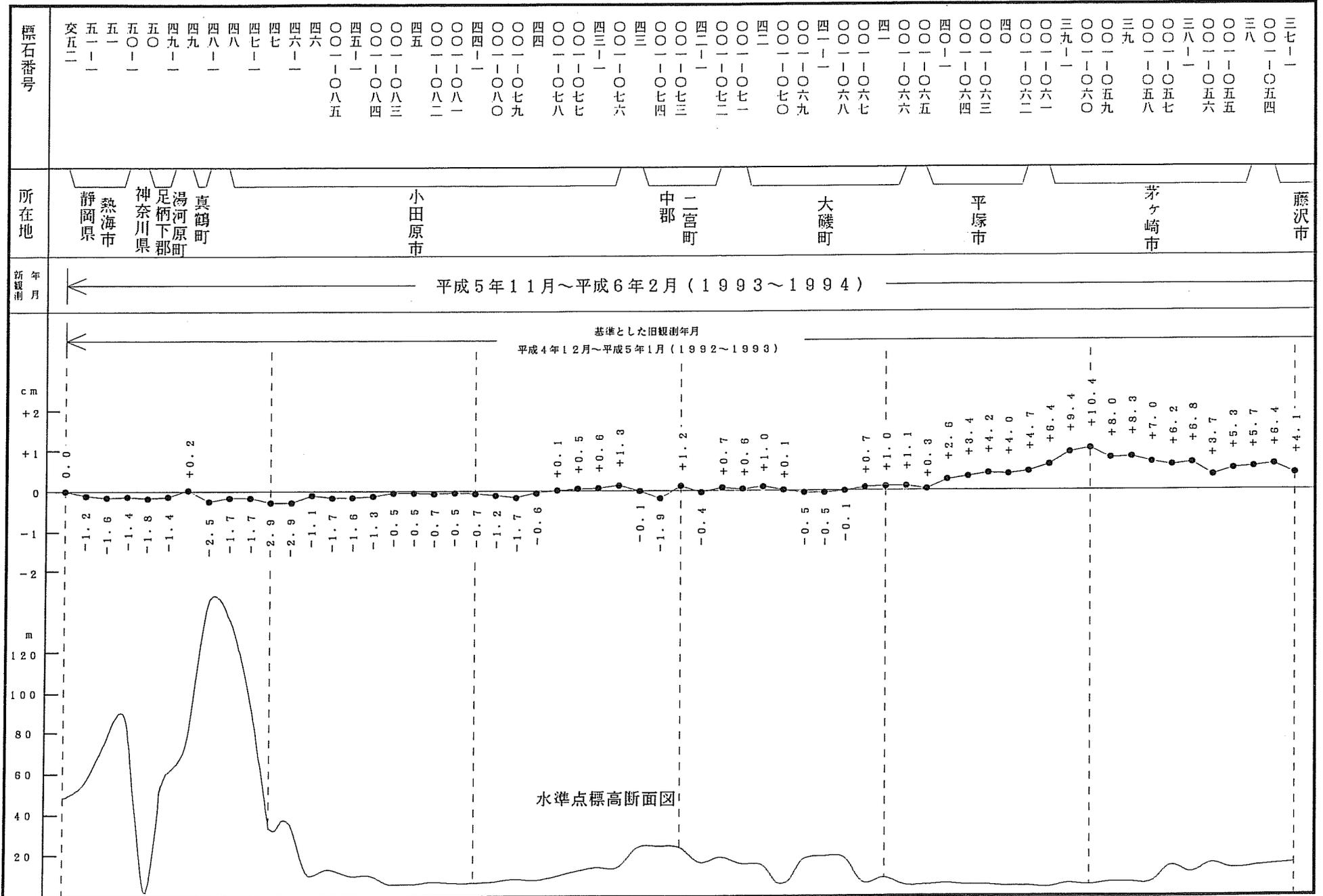
自 千葉県館山市 至 千葉県安房郡和田町



5-11-III 自 千葉県館山市 至 千葉県鴨川市

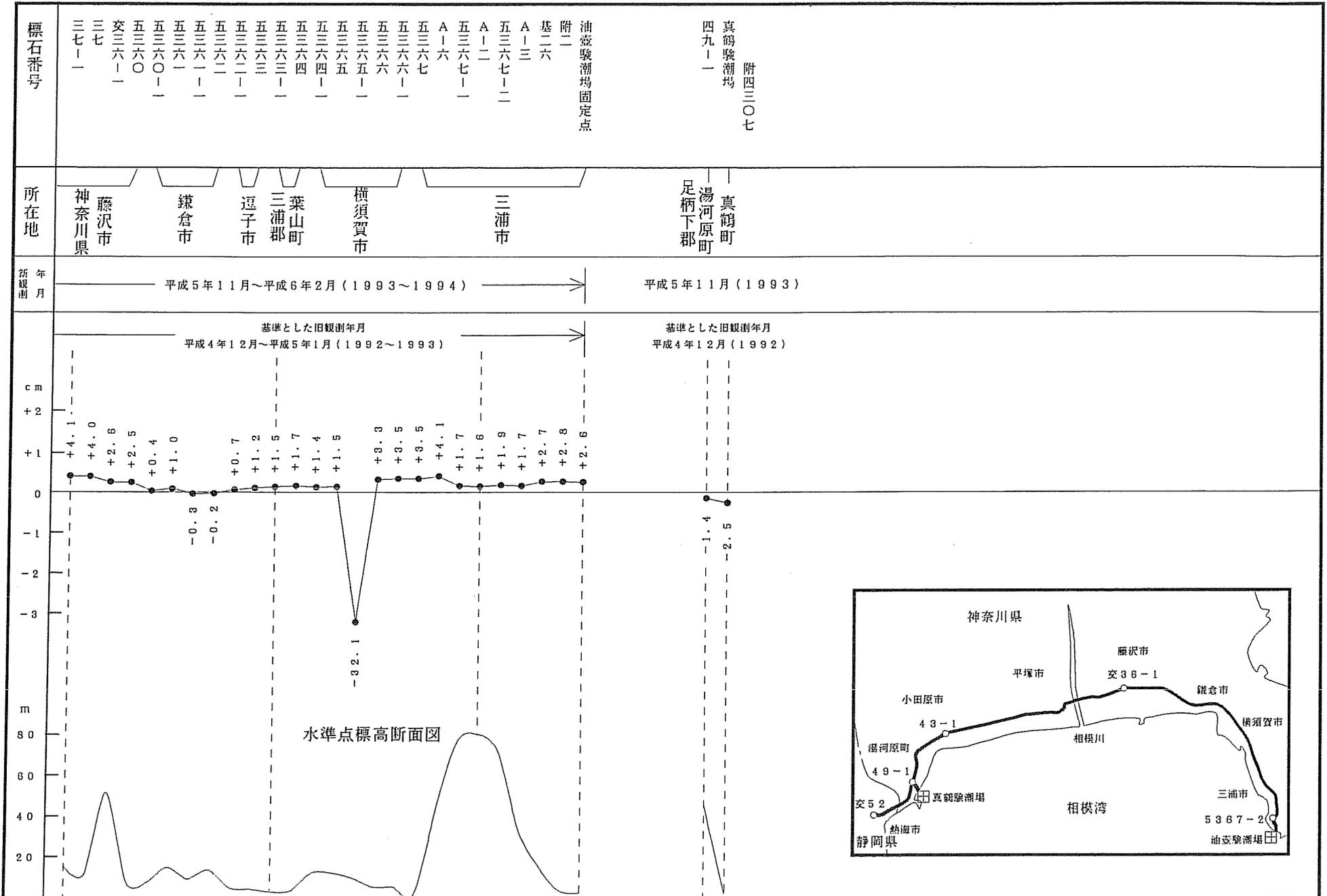


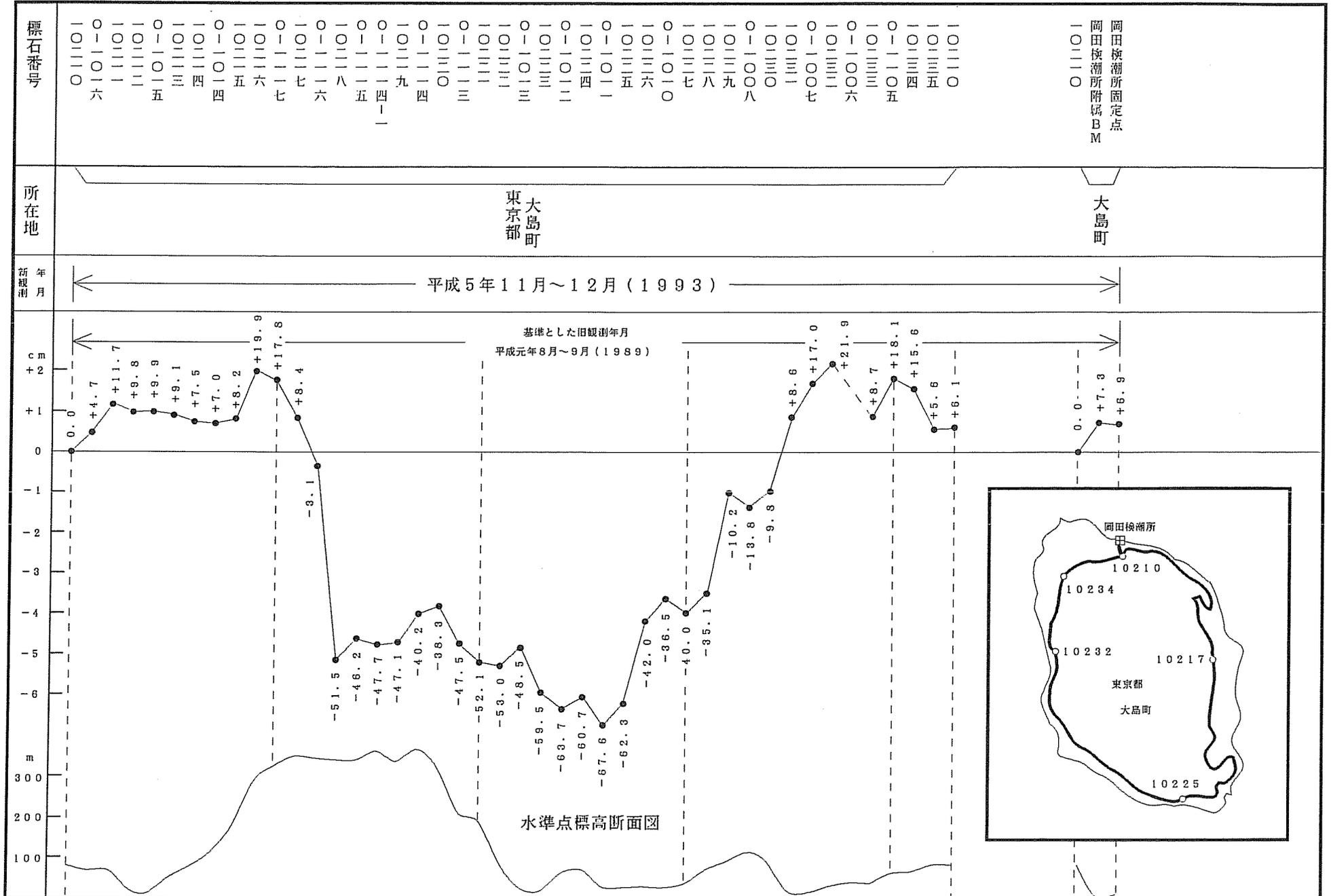
5-12-I 自 静岡県熱海市 至 神奈川県三浦市



5-12-I 自 静岡県熱海市 至 神奈川県 三浦市

自 神奈川県足柄下郡湯河原町
至 神奈川県足柄下郡真鶴町

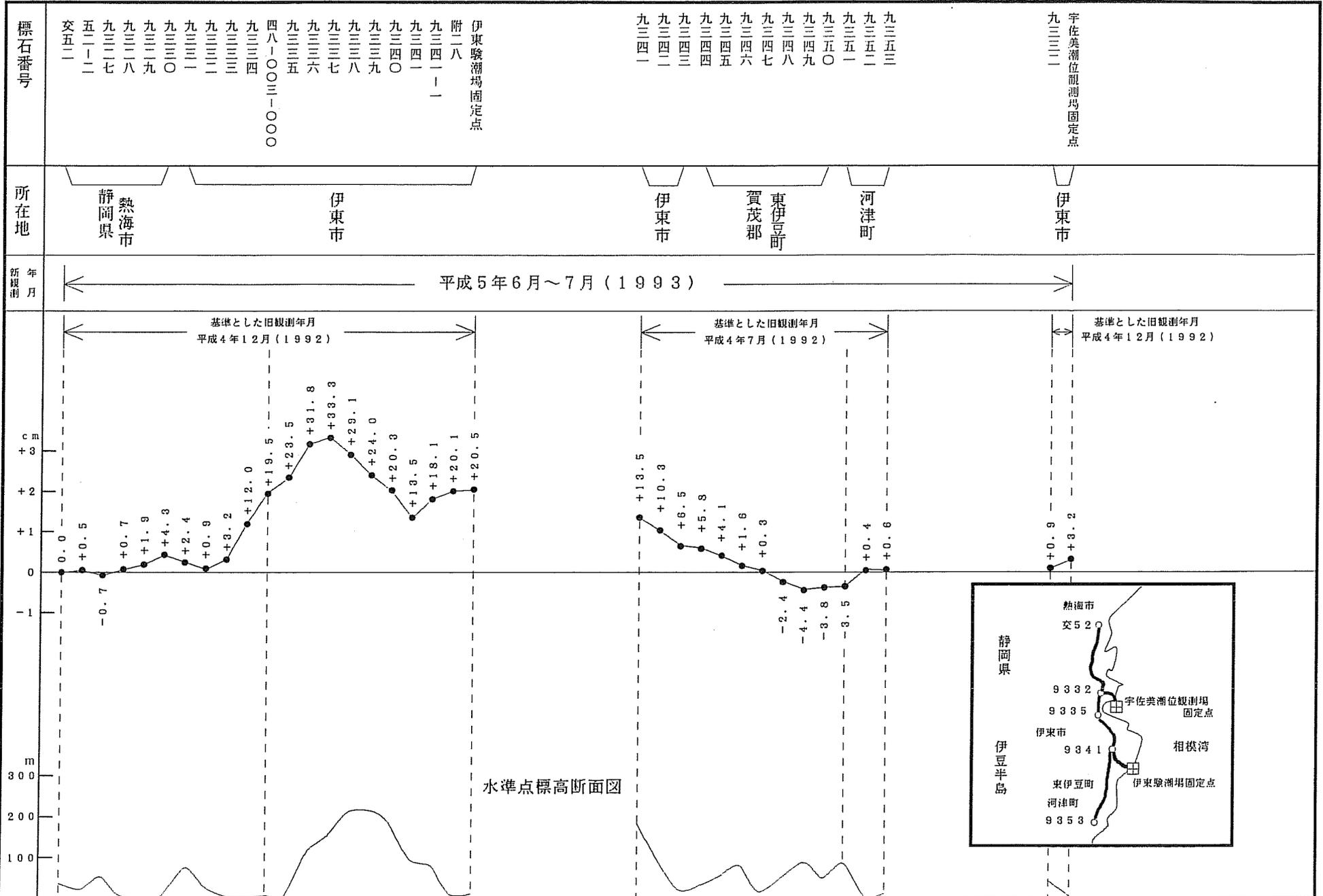


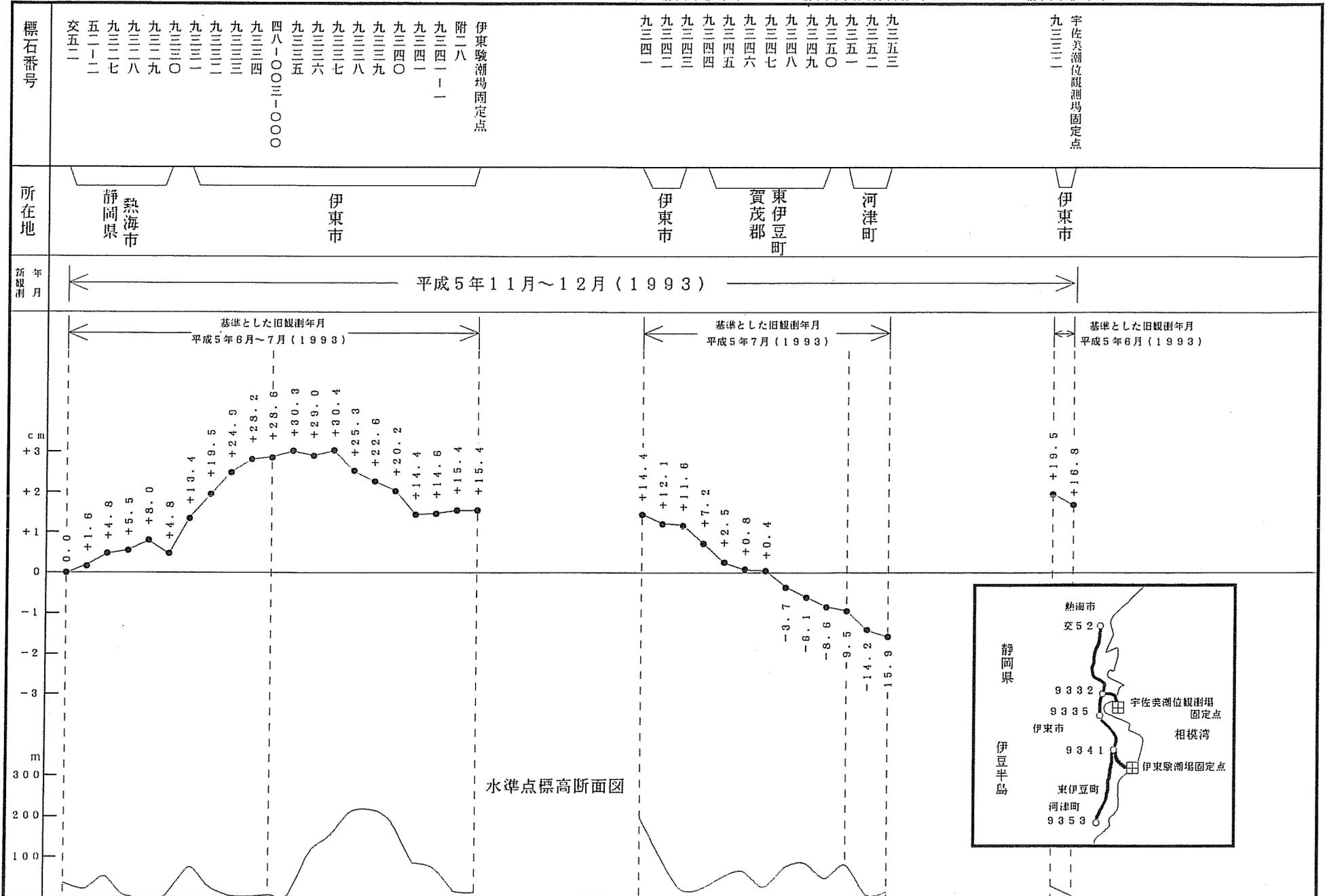


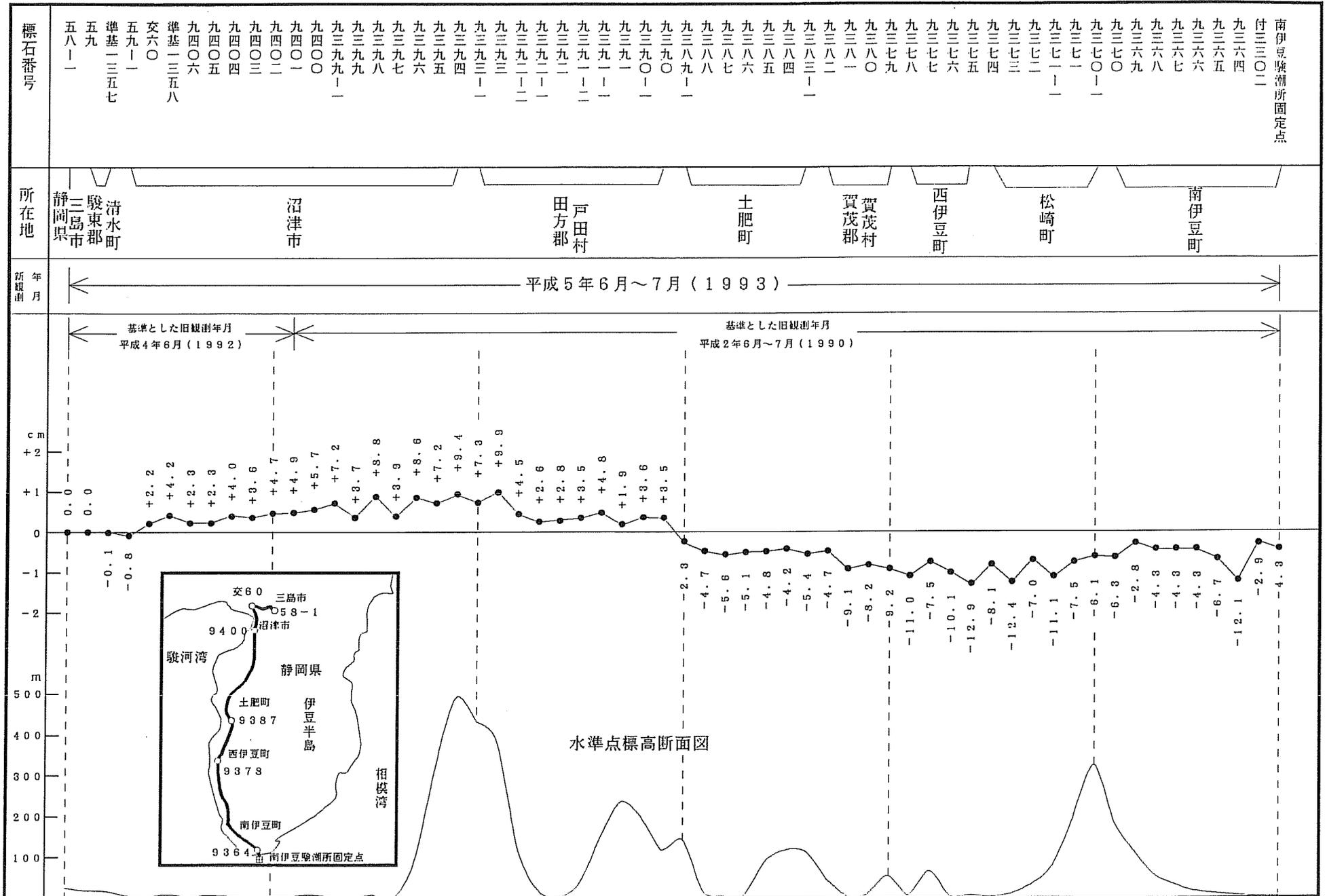
5-14-I 自 静岡県熱海市 至 静岡県伊東市

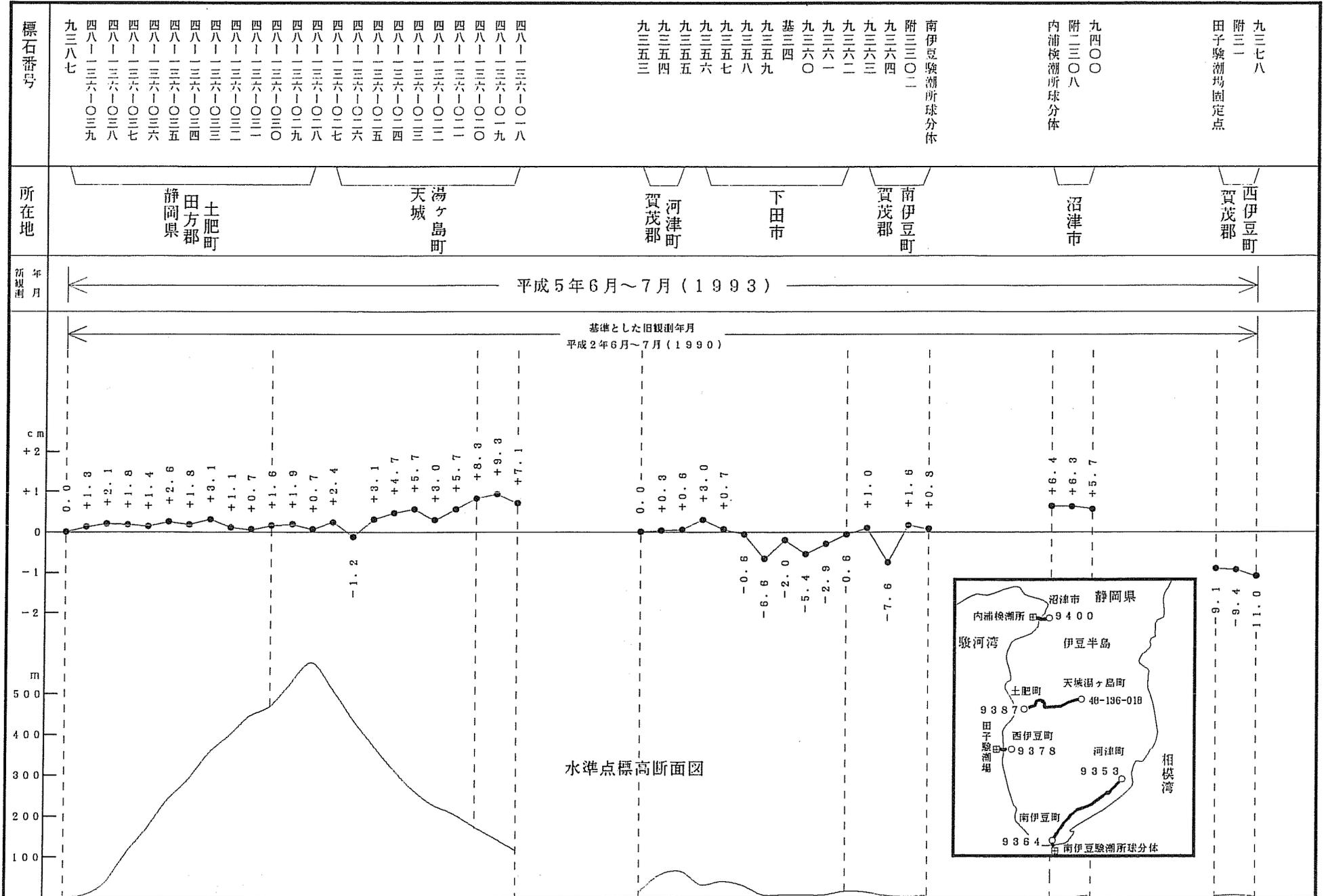
自 静岡県伊東市 至 静岡県賀茂郡河津町

静岡県伊東市

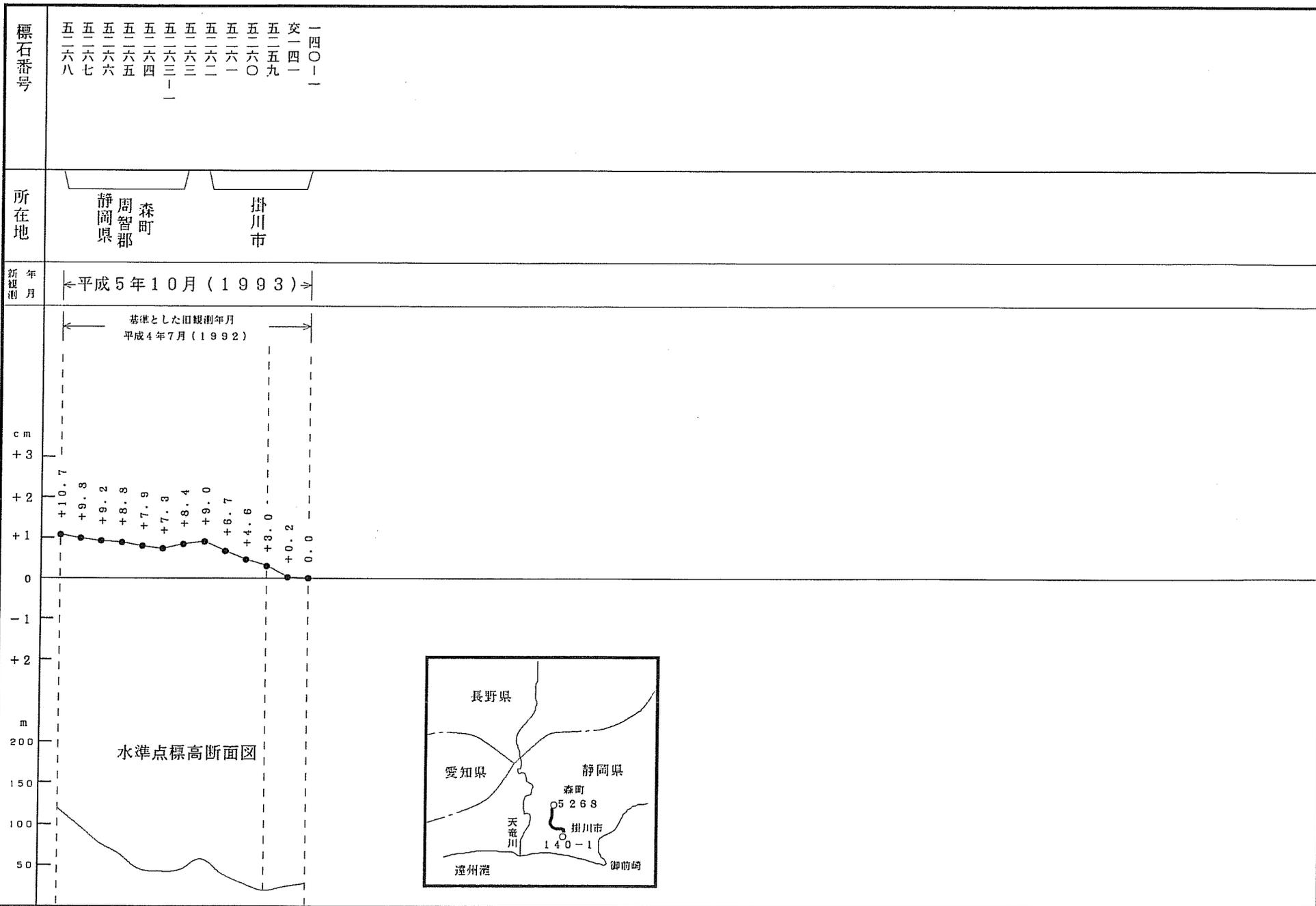








5-15-II 自 静岡県周智郡森町 至 静岡県掛川市

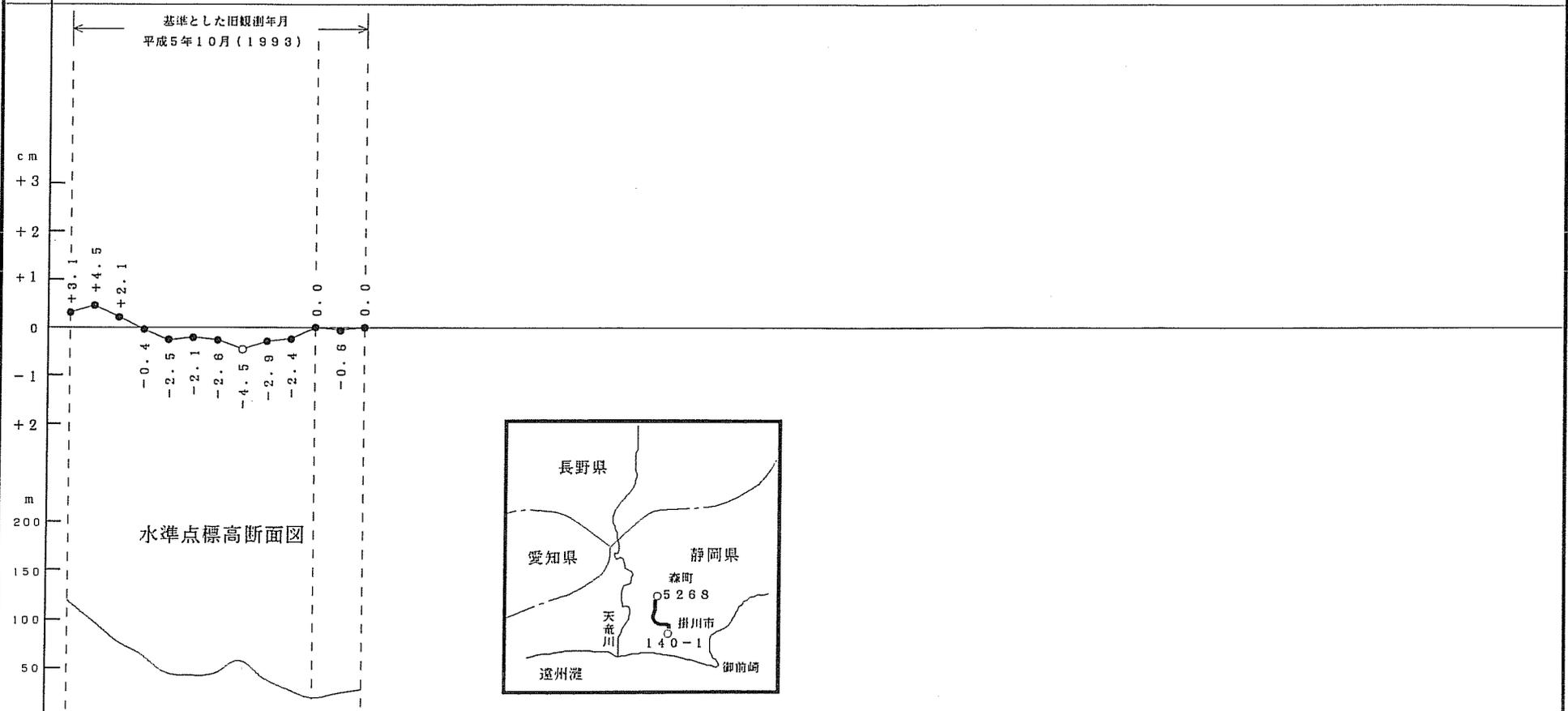


5-15-III 自 静岡県周智郡森町 至 静岡県掛川市

標石番号	五二六八 五二六七 五二六六 五二六五 五二六四 五二六三 五二六二 五二六一 五二六〇 五二五九 交一四一 一四〇一
------	--

所在地	静岡県周智郡森町 掛川市
-----	-----------------

新観測年月	平成6年1月(1994)
-------	--------------

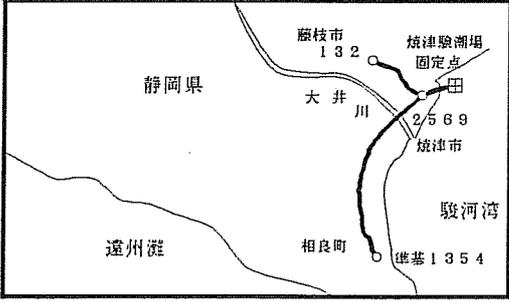
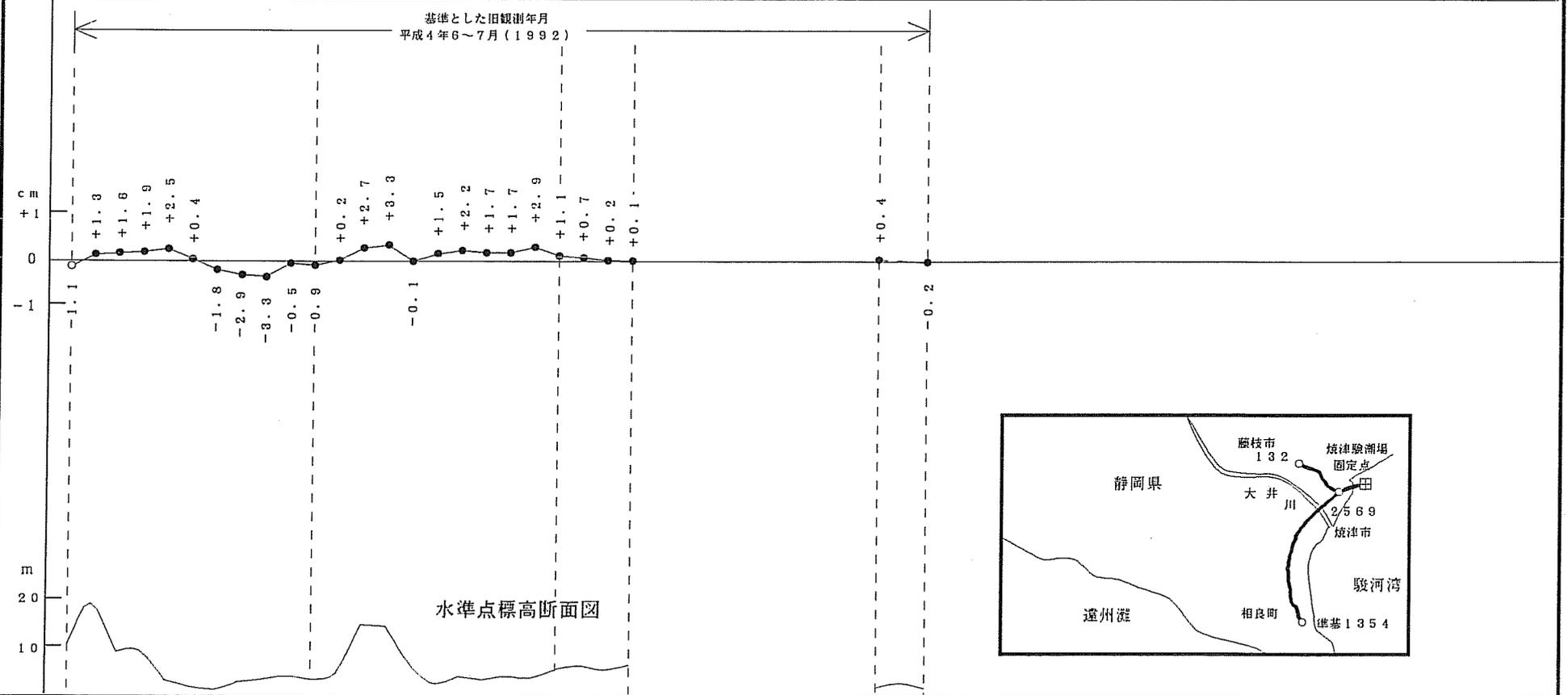


5-15-V 自 静岡県藤枝市 至 静岡県榛原郡相良町

静岡県焼津市

標石番号	一一三 二六八二 二六八三 二六八四 二六八九 二五七〇 二五七一 二五七二 二五七三 二五七四 二五七五 二五七六 二五七七 二五七八 二五七九 二五八〇 二五九一 二五九二 準基一三五四	所在地	静岡県 藤枝市 志太郡 大井川町 志太郡 大井川町 榛原郡 吉田町 榛原郡 榛原町 榛原郡 相良町 焼津市
------	---	-----	---

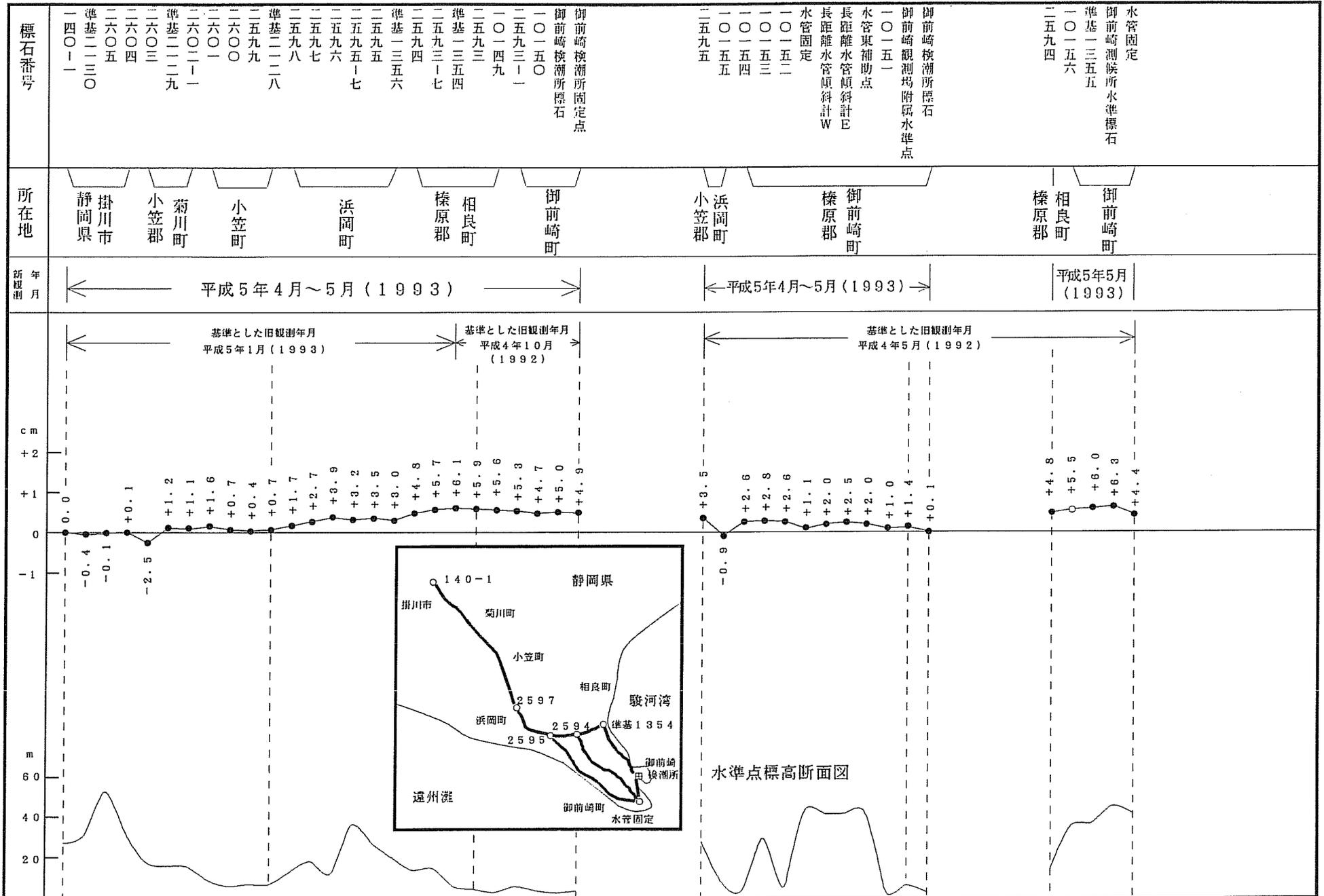
新観測 年 月 平成5年7月(1993)

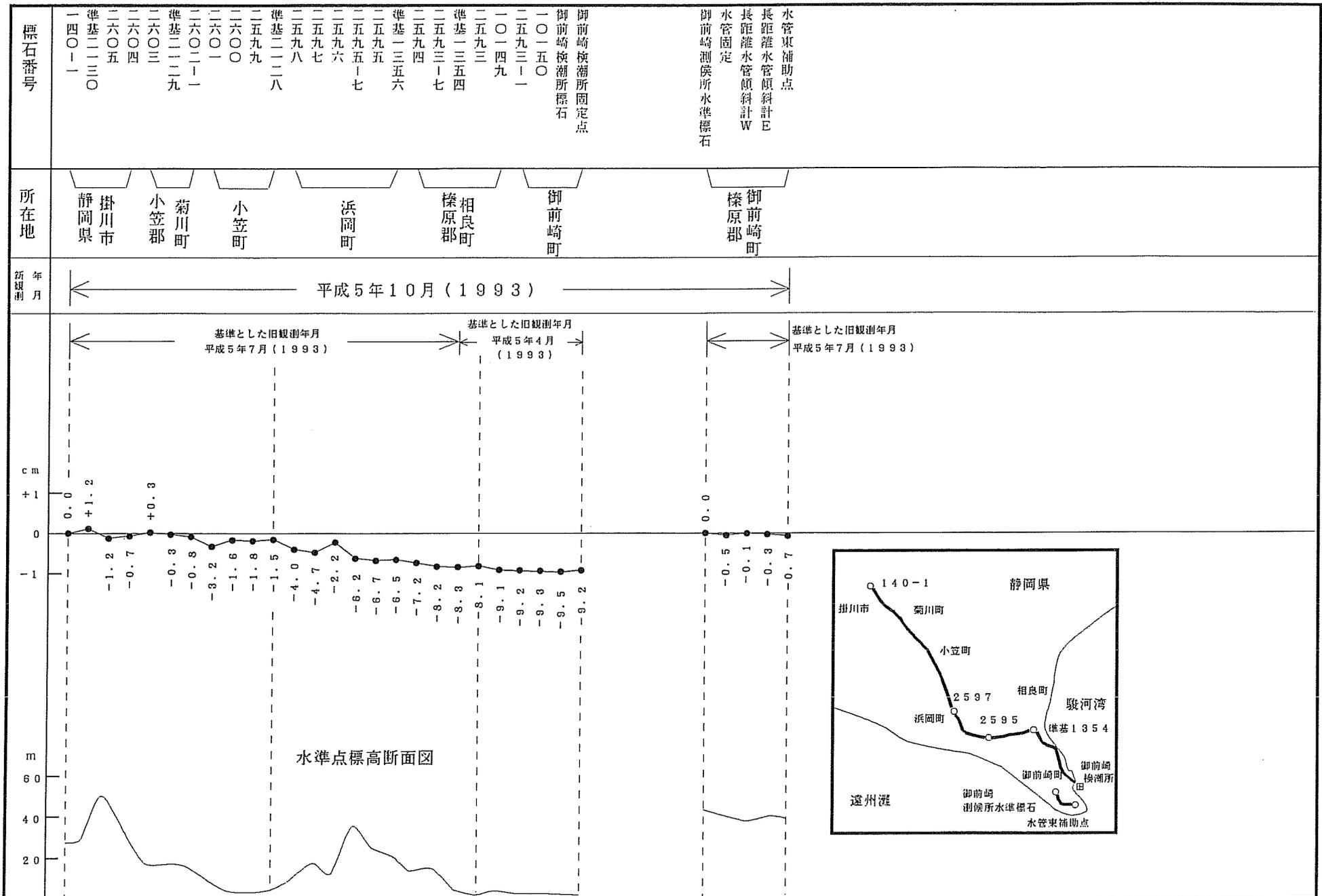


5-16-I 自 静岡県掛川市 至 静岡県榛原郡御前崎町

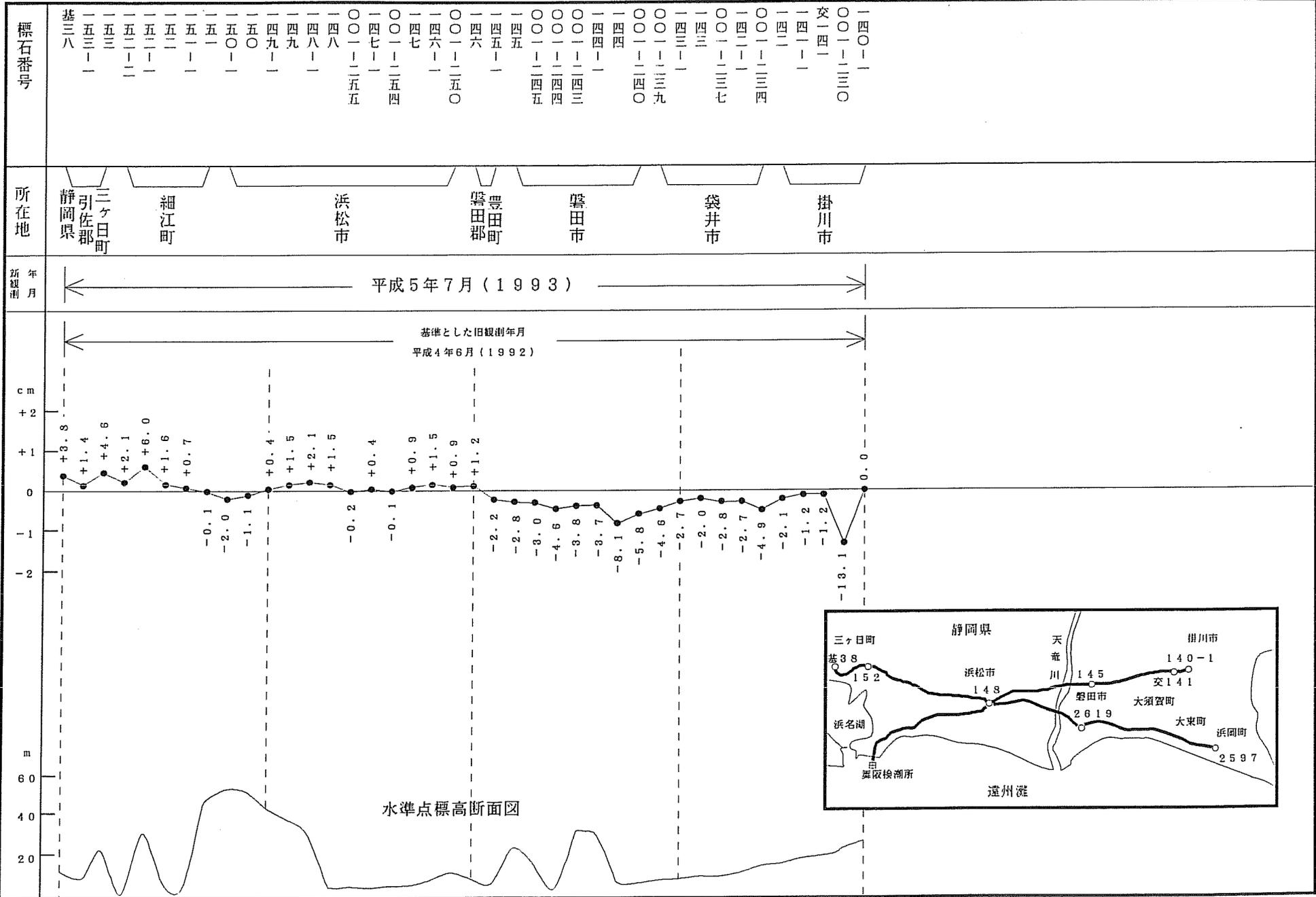
自 静岡県小笠郡浜岡町 至 静岡県榛原郡御前崎町

自 静岡県榛原郡相良町 至 静岡県榛原郡御前崎町

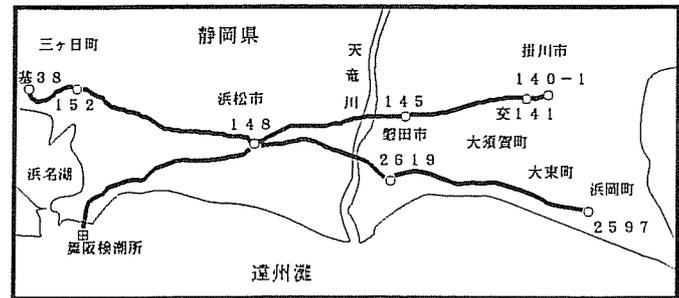
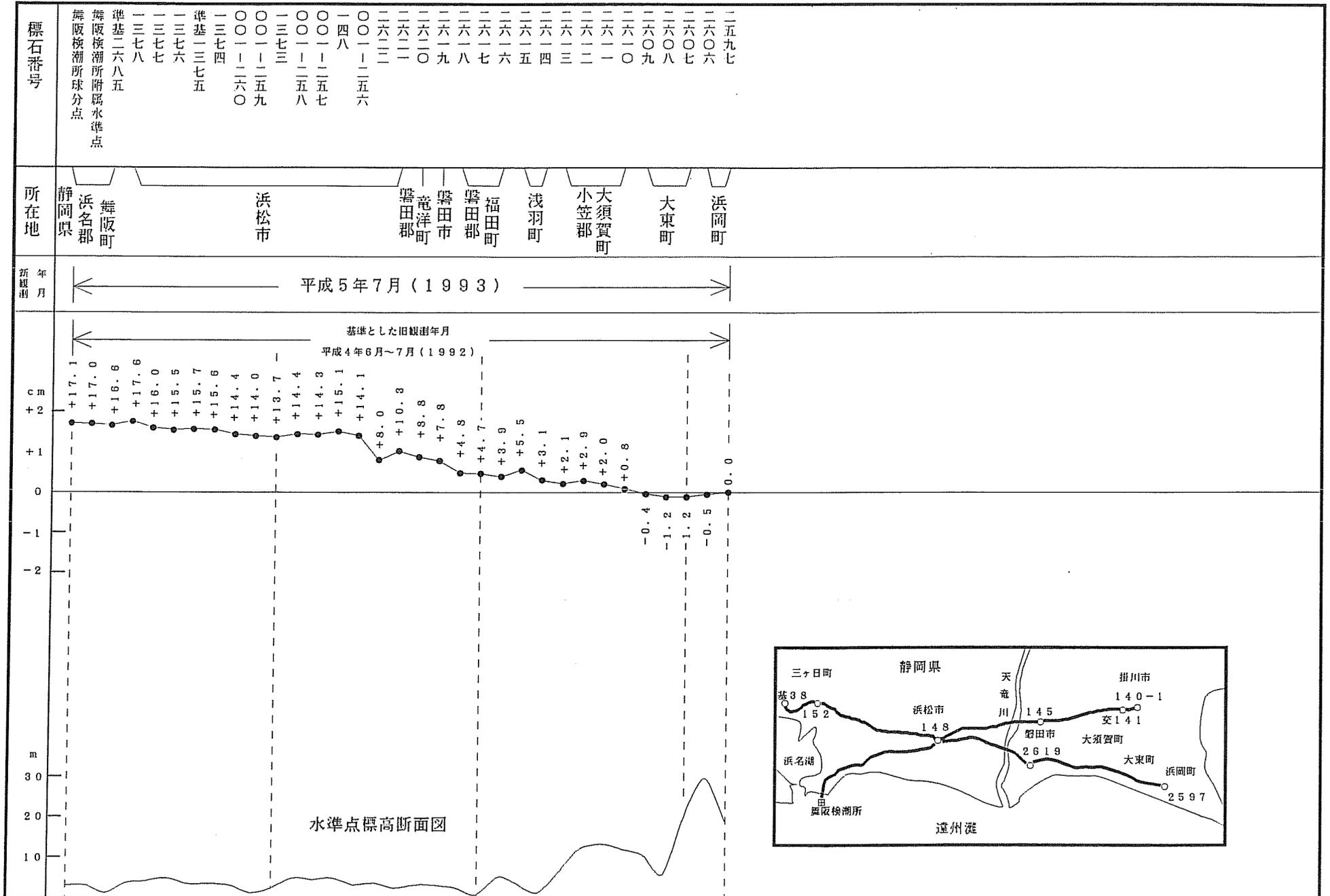




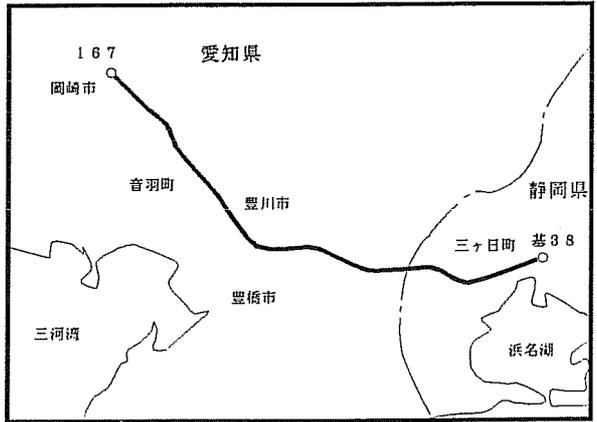
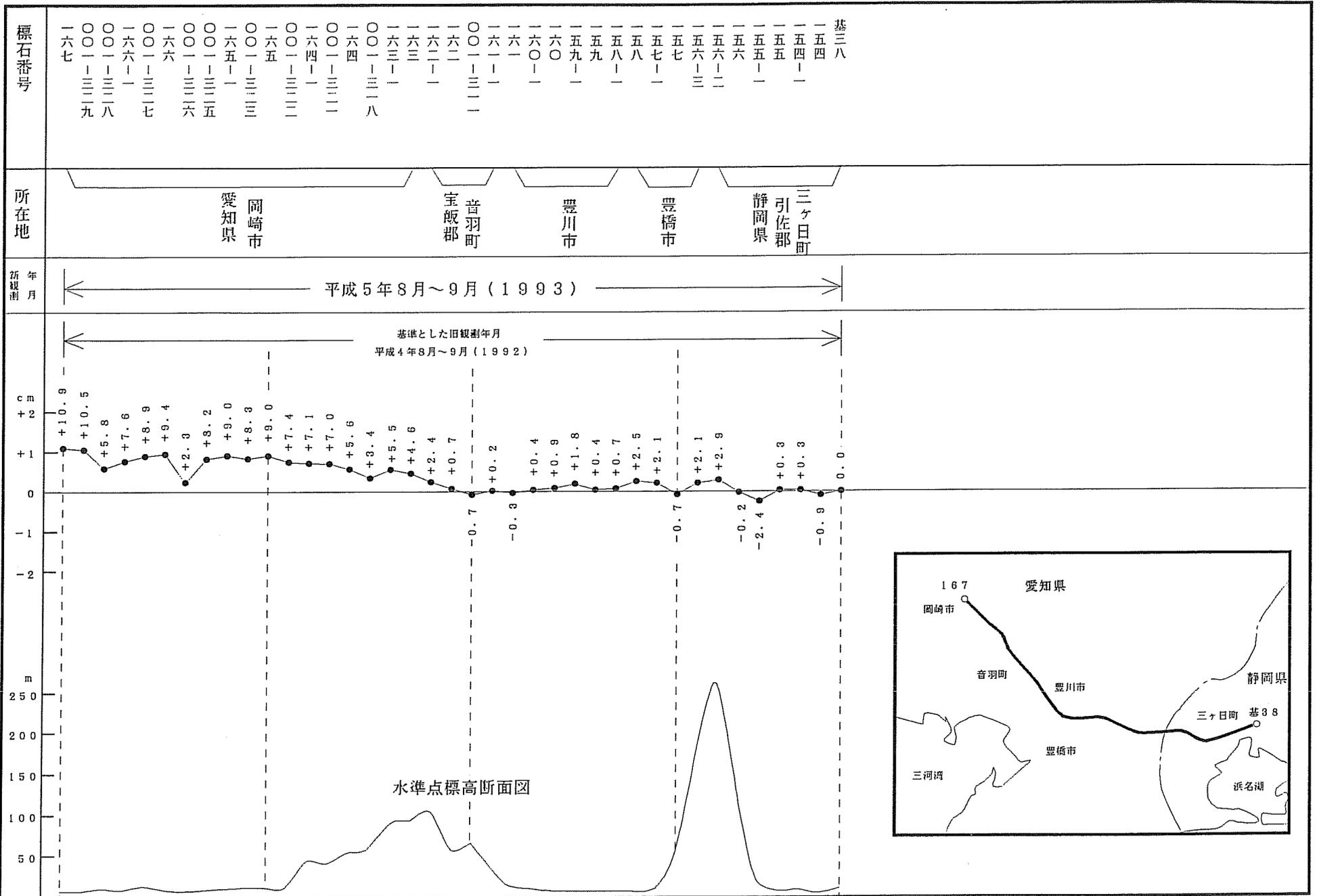
5-17-I 自 静岡県引佐郡三ヶ日町 至 静岡県掛川市

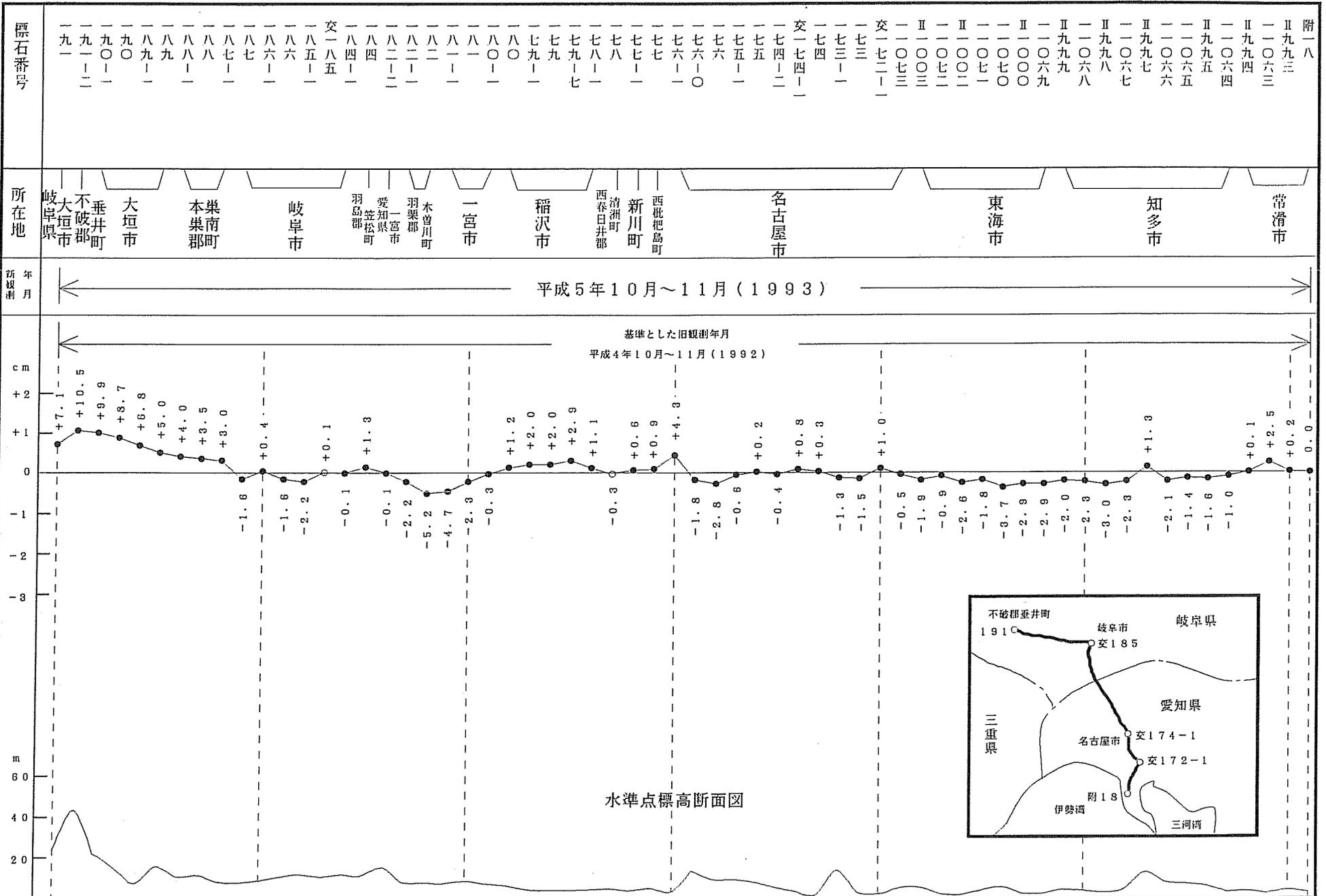


5-17-II 自 静岡県浜名郡舞阪町 至 静岡県小笠郡浜岡町



5-17-Ⅲ 自 愛知県岡崎市 至 静岡県引佐郡三ヶ日町

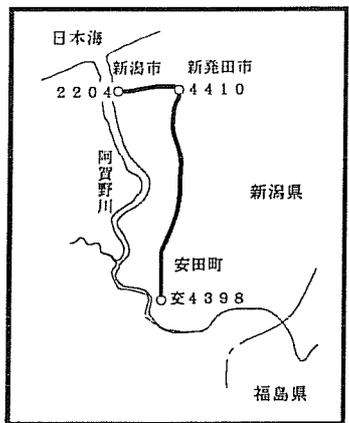
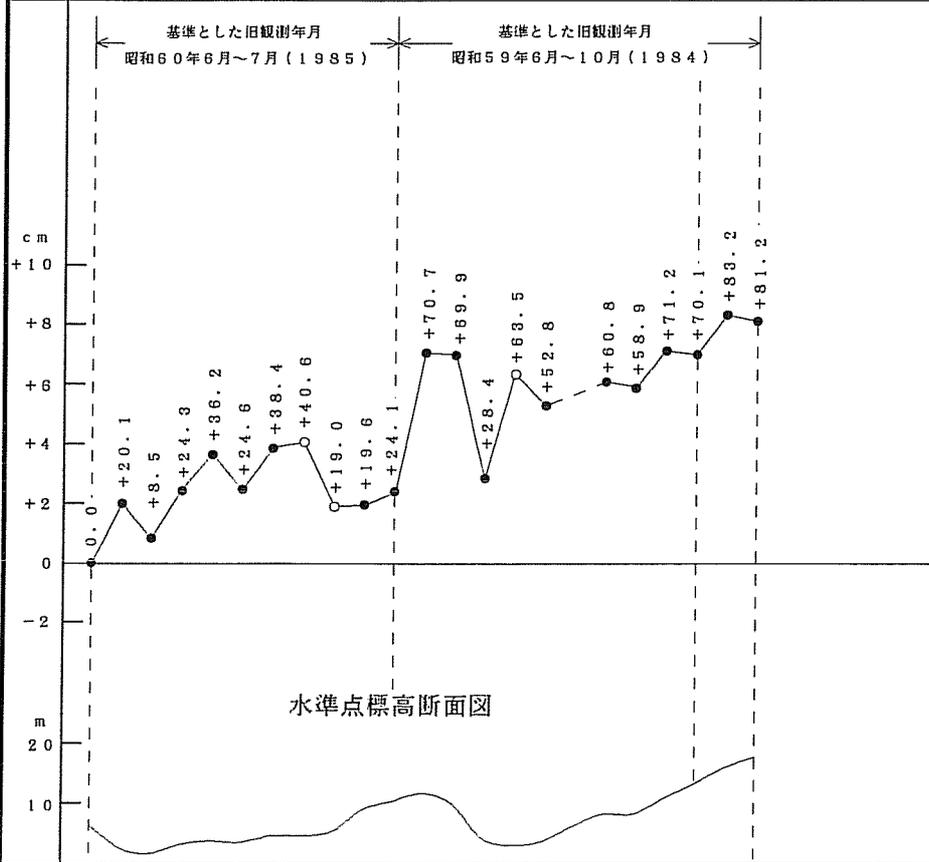




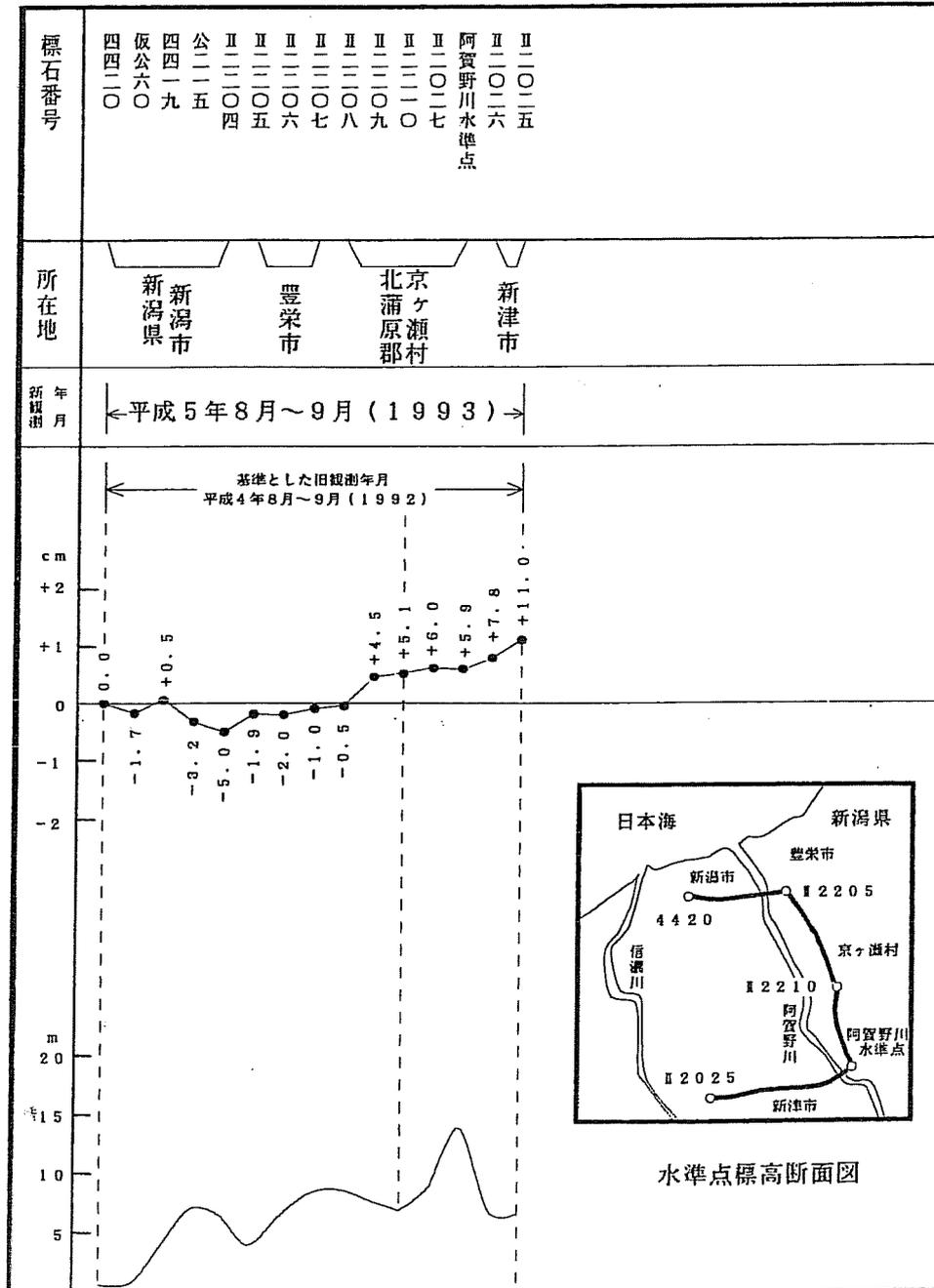
5-19-I 自 新潟県新潟市 至 新潟県北蒲原郡安田町

標石番号	二二〇四 四四一八 四四一七 四四一六 四四一五 〇〇七一〇一七 四四一四 四四一三 四四一二 四四一一 四四一〇 四四〇九 四四〇八 四四〇七 四四〇六 四四〇五 四四〇四 四四〇三 四四〇二 四四〇一 四四〇〇 四三九九 交四三九八
所在地	新潟県 新潟市 豊栄市 新発田市 北蒲原郡 豊浦町 笹神村 水原町 安田町

新規測 年月 平成5年9月～12月(1993)



5-19-II 自 新潟県新潟市 至 新潟県新津市



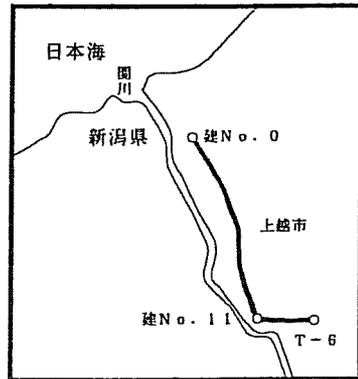
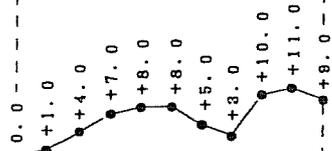
自 新潟県上越市 至 新潟県上越市

建 仮 建 建 建 建 建 T 建 建
 N 建 N N N N N T N N
 〇 〇 〇 〇 〇 〇 一 〇 〇
 〇 〇 三 五 六 七 八 〇 〇
 一 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

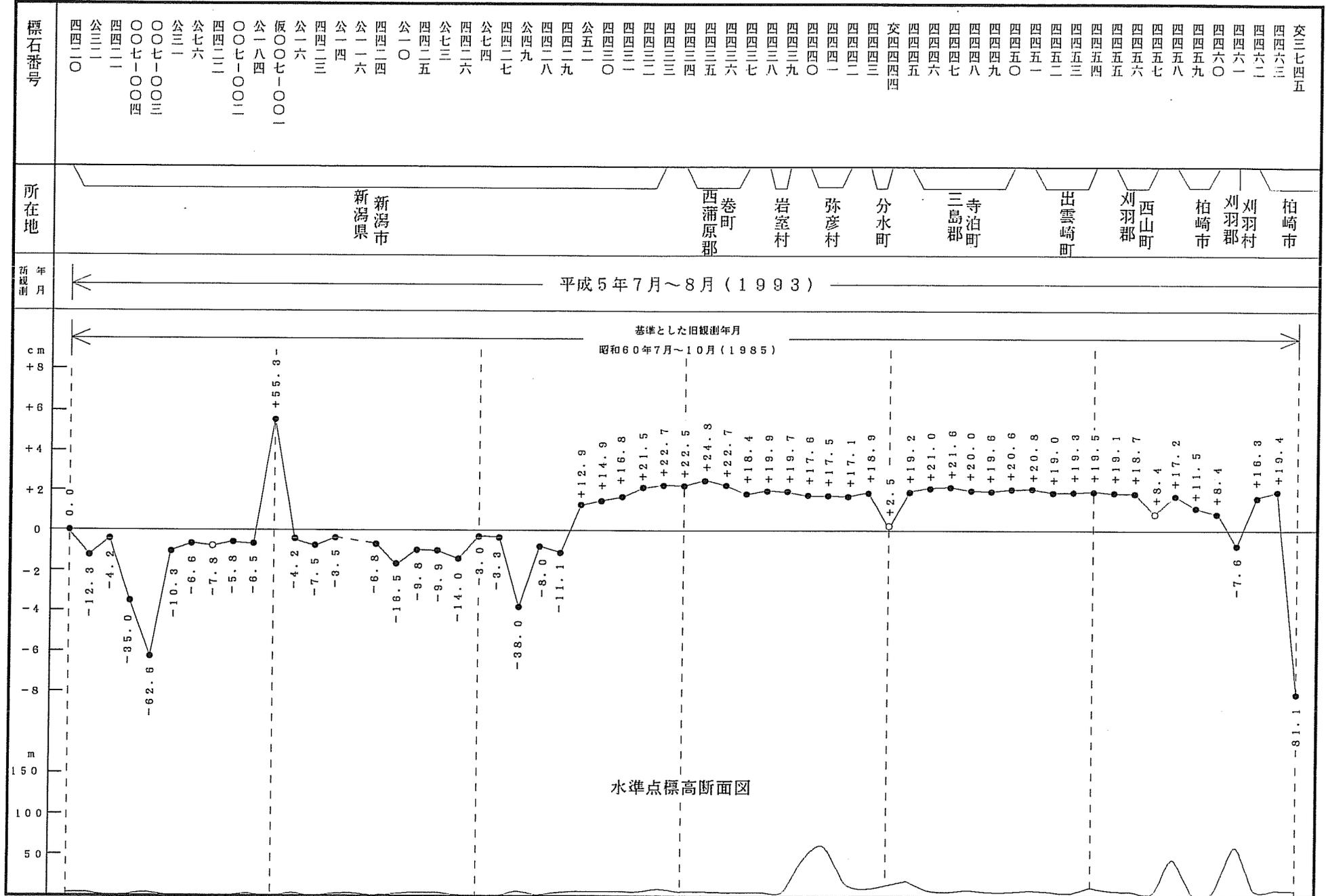
上
越
市

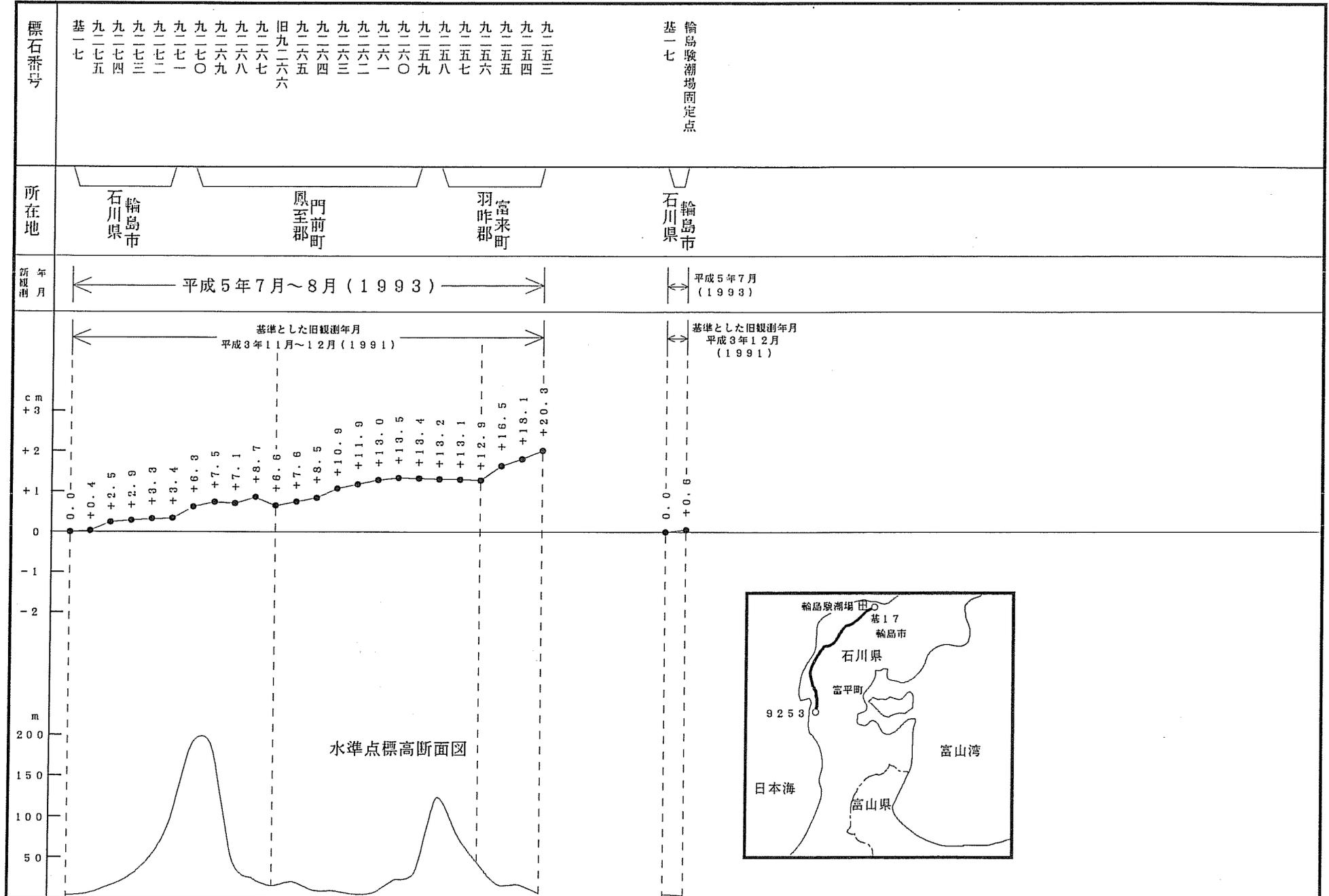
平成5年9月(1993)

← 基準とした旧観測年月
平成4年9月(1992) →



5-19-III 自 新潟県新潟市 至 新潟県北魚沼郡小出町

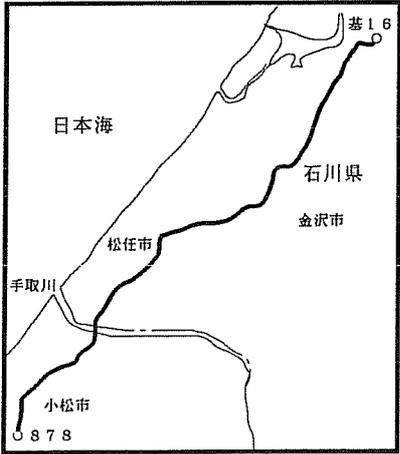
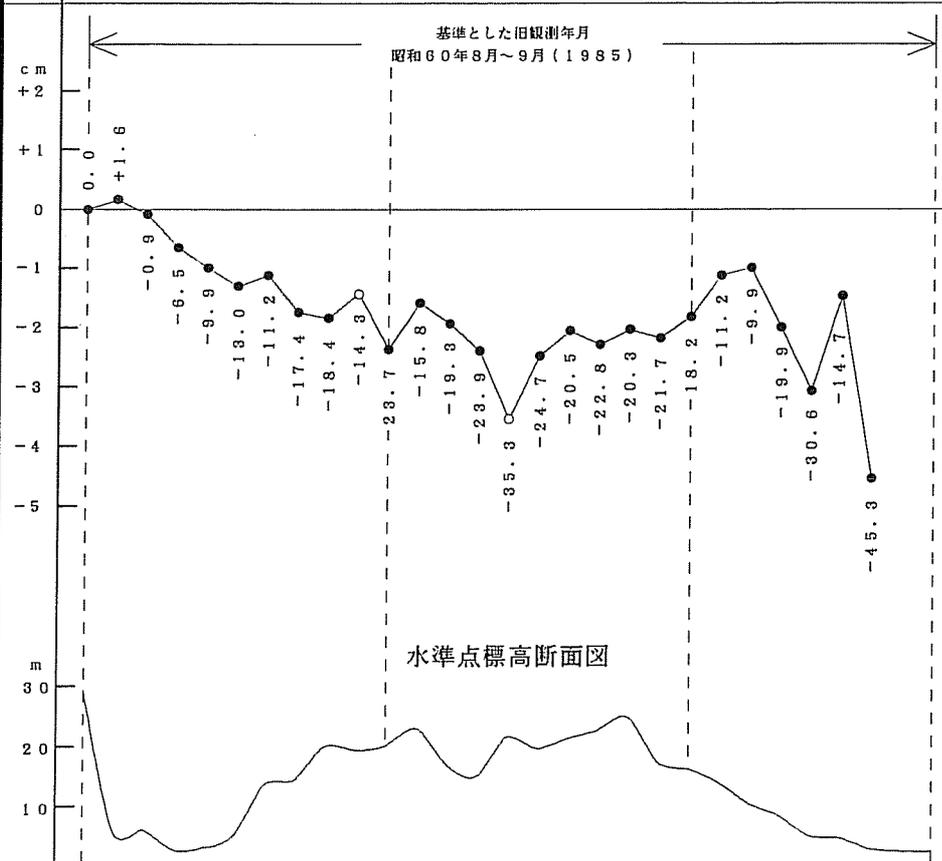




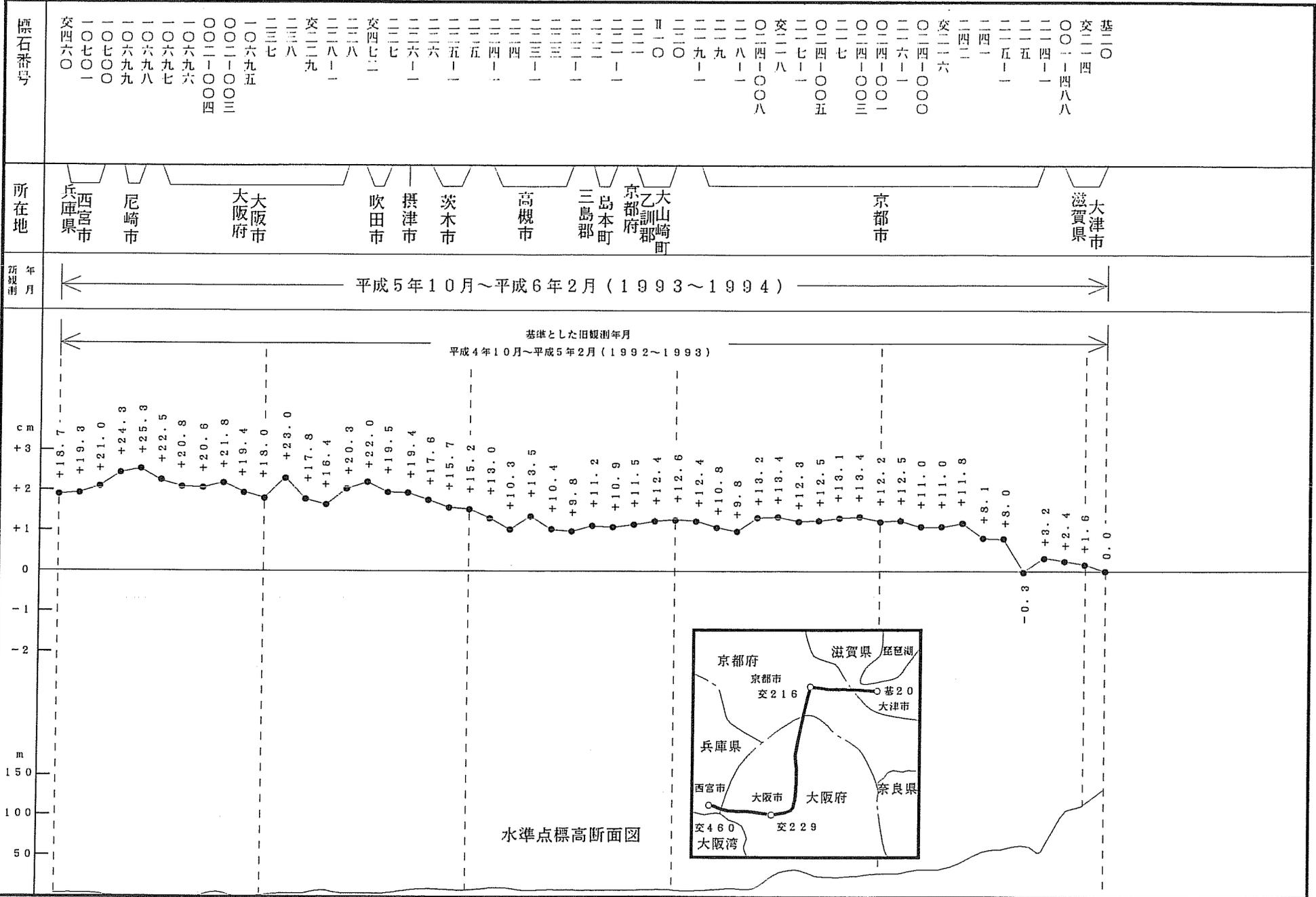
5-20-Ⅲ 自 石川県河北郡津幡町 至 石川県小松市

標石番号	基一六 交一一 八五五 八五六 八五七 八五八 八五九 八六〇 八六一 〇〇八一 〇〇八二 〇〇八三 八六三 八六四 八六五 八六六 八六七 八六八 八六九 八七〇 八七一 八七二 八七三 八七四 準基一二三四 八七五 八七六 八七七 八七八
所在地	石川県 河北郡 津幡町 金沢市 石川県 野々市町 松任市 能美郡 川北町 寺井町 小松市

新観測 年 月 平成5年8月~9月(1993)



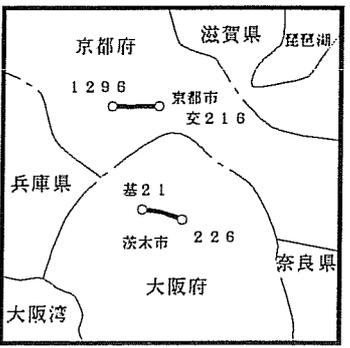
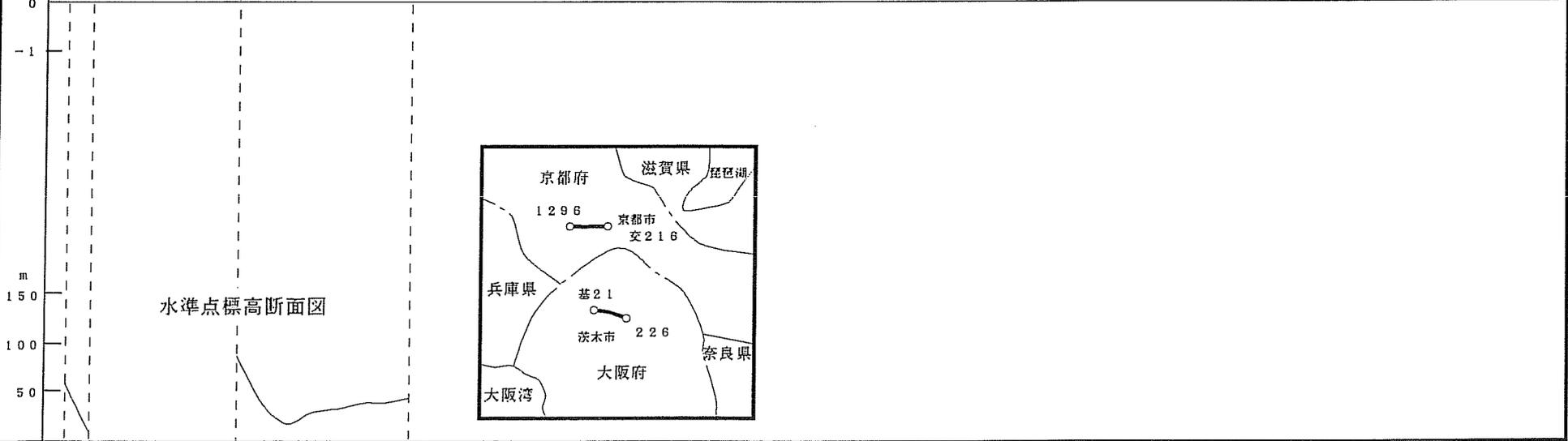
5-21-I 自 兵庫県西宮市 至 滋賀県大津市

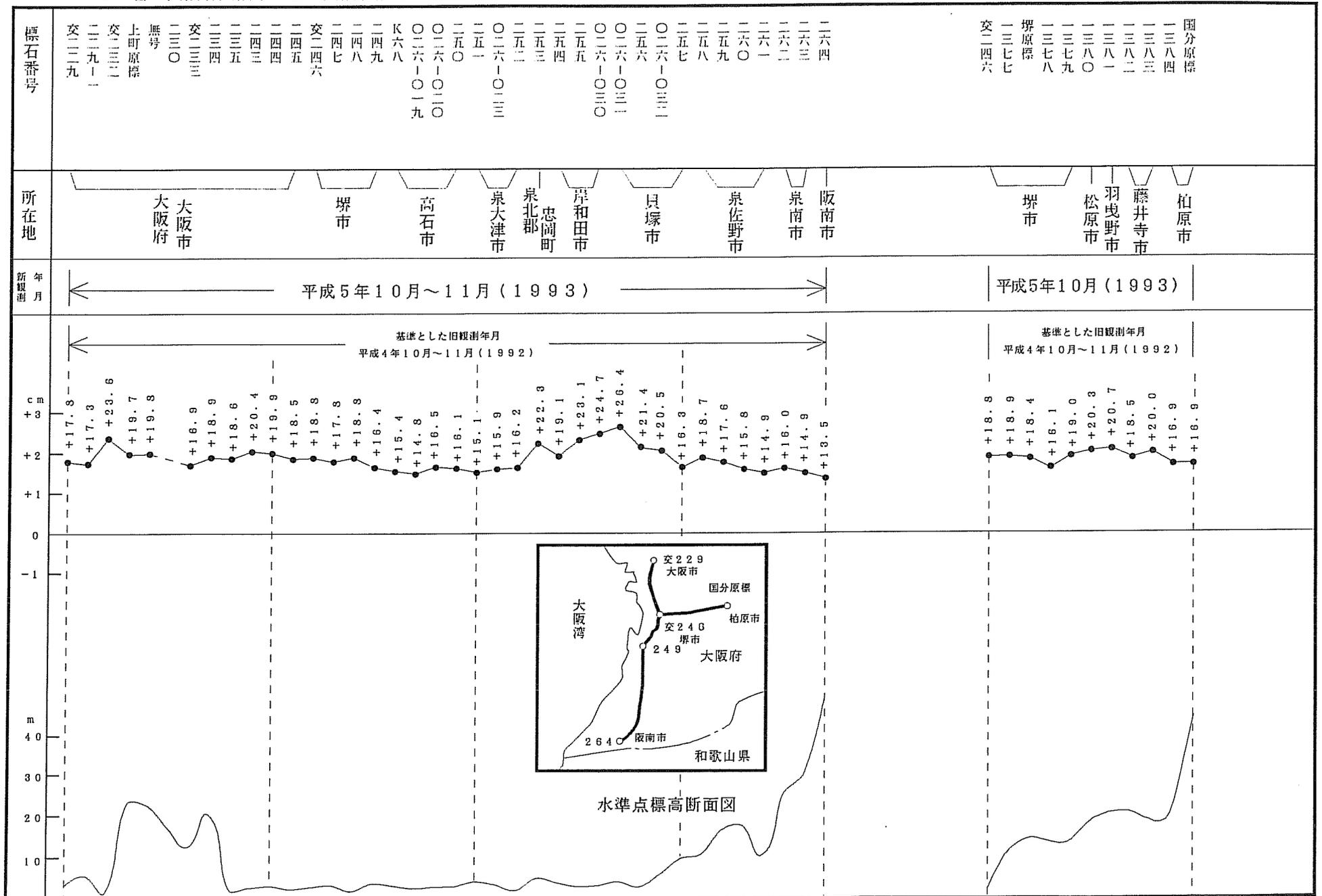


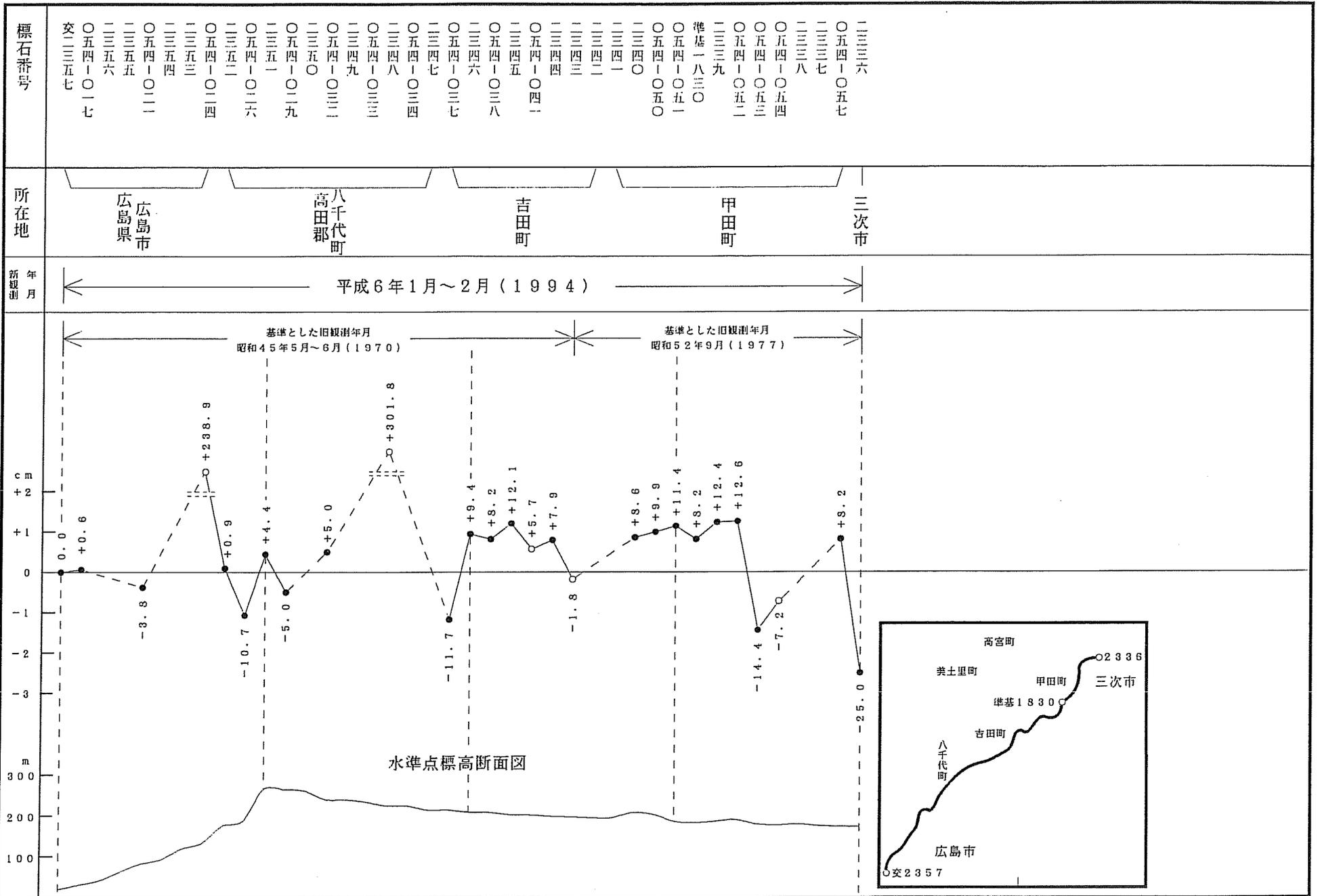
標石番号	基二二六 二二六 二二六	二二九六 二二九七 二二九八 二二九九	〇〇九一〇〇二 交二三九 〇〇九一〇〇〇	交二二六
------	--------------------	------------------------------	----------------------------	------

所在地	大阪府 茨木市	京都府 京都市
-----	---------	---------

新観測年月	平成5年10月 (1993)	平成6年1月~2月 (1994)
-------	----------------	------------------







5-23 自 徳島県三好郡山城町 至 高知県高知市

